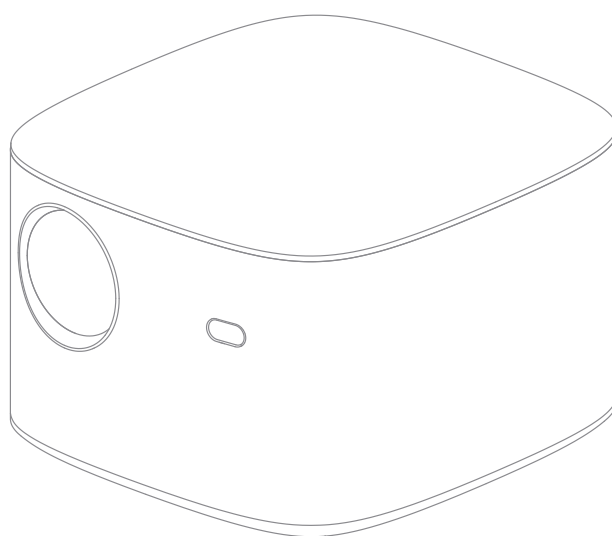


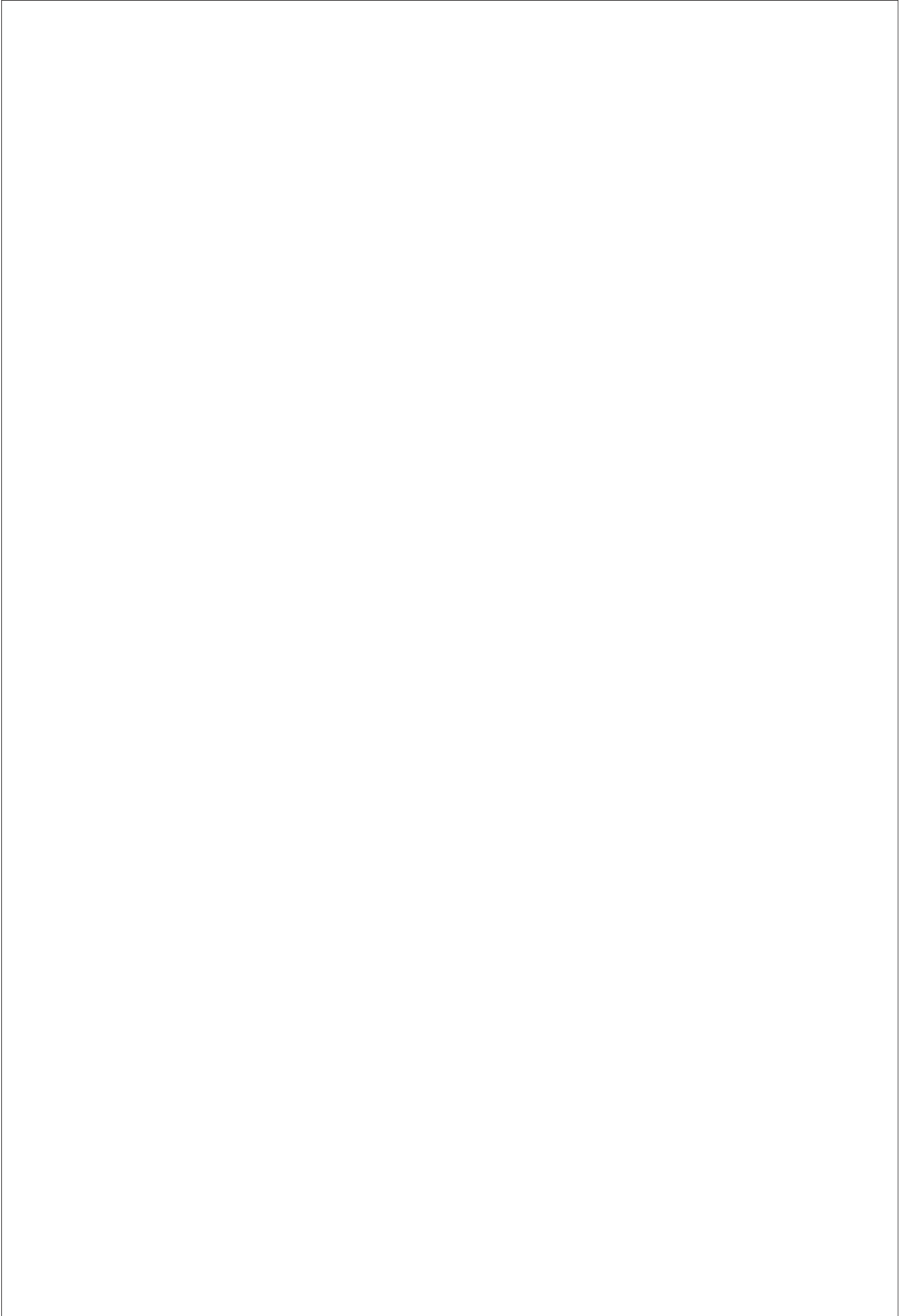
XGIMI HORIZON PRO

XGIMI HORIZON

取扱説明書



日本語	1
English	23
中文	41



本製品を使用する前に、製品取扱説明書をよくお読みください

Chengdu XGIMI Technology Co., Ltd. (以下「XGIMI Technology」または「XGIMI」) の製品をご購入、ご利用いただきありがとうございます。お客様の安全と利益のために、本製品を使用する前に製品取扱説明書をよくお読みください。

本製品を不適切な使用及び安全に使用しなかったことにより生じる人身傷害、財産に対する損害、または、その他の損失について、XGIMI Technologyは一切の責任を負いません。

製品取扱説明書 (以下「本説明書」) について

本説明書の著作権は、XGIMI Technologyに帰属します。

本説明書に記載されている商標および名称は、各権利所有者に帰属します。

本説明書の内容と実際の製品との間に矛盾がある場合は、実際の製品が優先されるものとします。

本説明書に記載されている内容または条項に異議がある場合は、購入後7日以内に書面でXGIMI Technologyに申し立てるものとし、かかる申し立てがない場合は、本説明書のすべての内容に同意し、理解して受け入れたものと見なされます。

Google、Android TV、Chromecast built-in は Google LLC の商標です。

Googleアシスタントは特定の言語および国/地域では利用できません。利用可能なサービスは、国/言語によって異なります。



High-Definition Multimedia Interface (HDMI) およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



DTSの特許については、<http://patents.dts.com>を参照してください。DTS Licensing Limitedからのライセンスに基づき製造されています。DTS、DTS-HD、DTS Studio Sound、およびDTS-HDのロゴは米国およびその他の国におけるDTS, Inc.の登録商標または商標です。© 2020 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

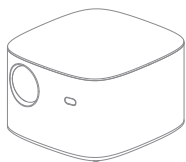


Dolby Laboratoriesのライセンスに基づいて製造されています。Dolby、Dolby Audio、およびダブルD記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporationの商標です。

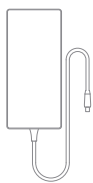
* モデル: XK03H/XK03K

* XGIMI Technologyは、本説明書を解釈および修正する権利を留保します。

内容物



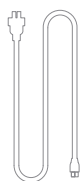
XGIMIプロジェクター本体



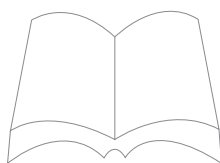
アダプタ



リモコン



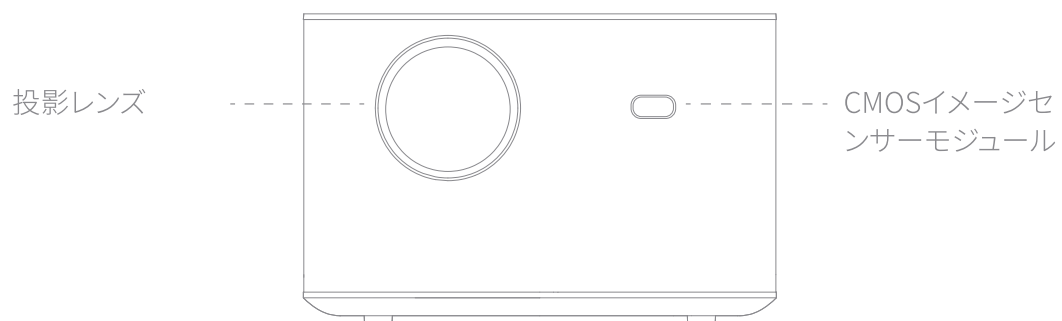
電源コード



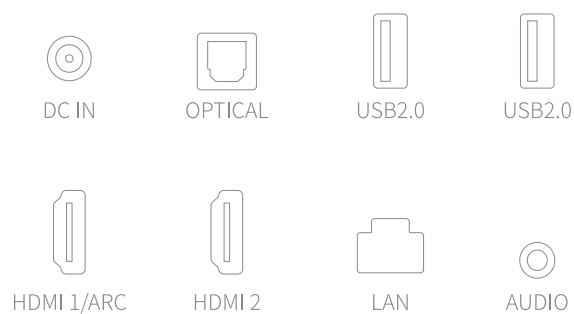
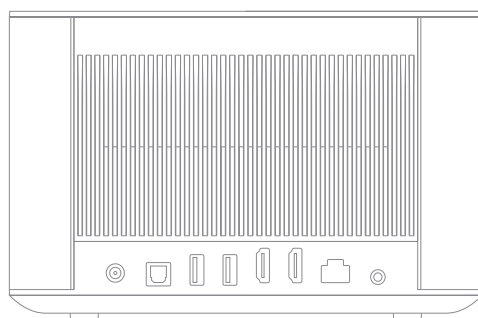
取扱説明書、保証カード

概要

正面図



背面図



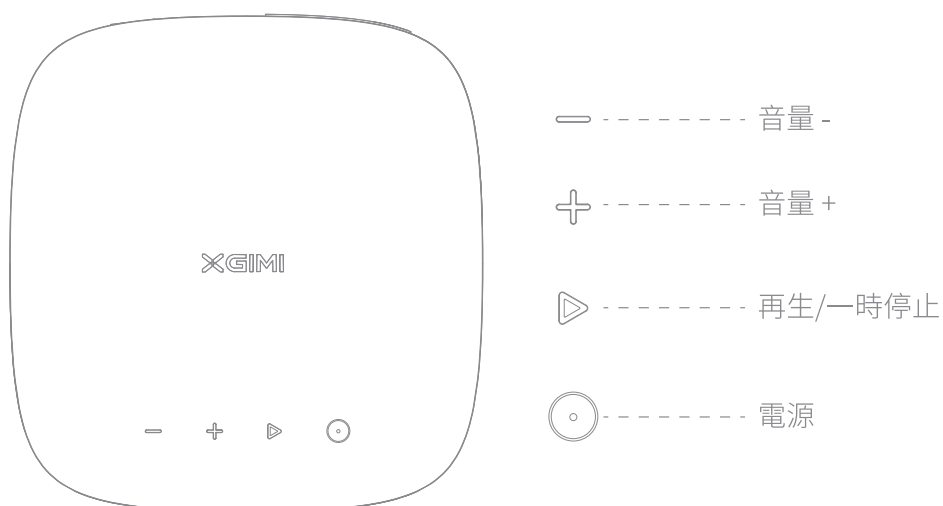
* Projection レンズとセンサーモジュールを塞がないでください。塞いしまうと、オートフォーカス後に画像が不鮮明になったり、キーストーンの自動補正機能が正常に動作しなくなる場合があります。

* HDMI2.0インターフェイスの使用時は、HDMI2.0ケーブルを使用してください。

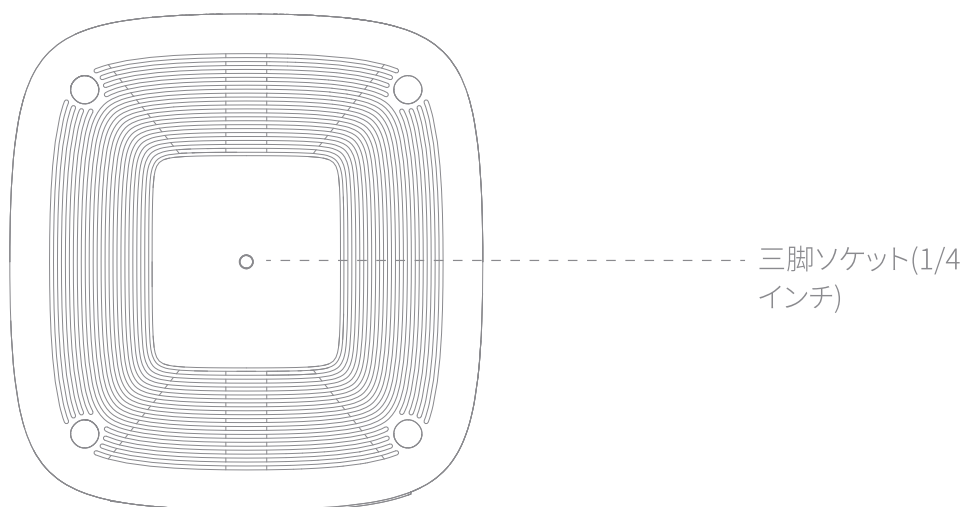
LEDインディケータ

LEDインディケータ	LEDステータス	説明
	点灯	デバイスの電源はオンの状態でディスプレイはオフです。
	点滅	デバイスの電源はオンまたはオフです。
	高速点滅	ファームウェアのアップデート中です。

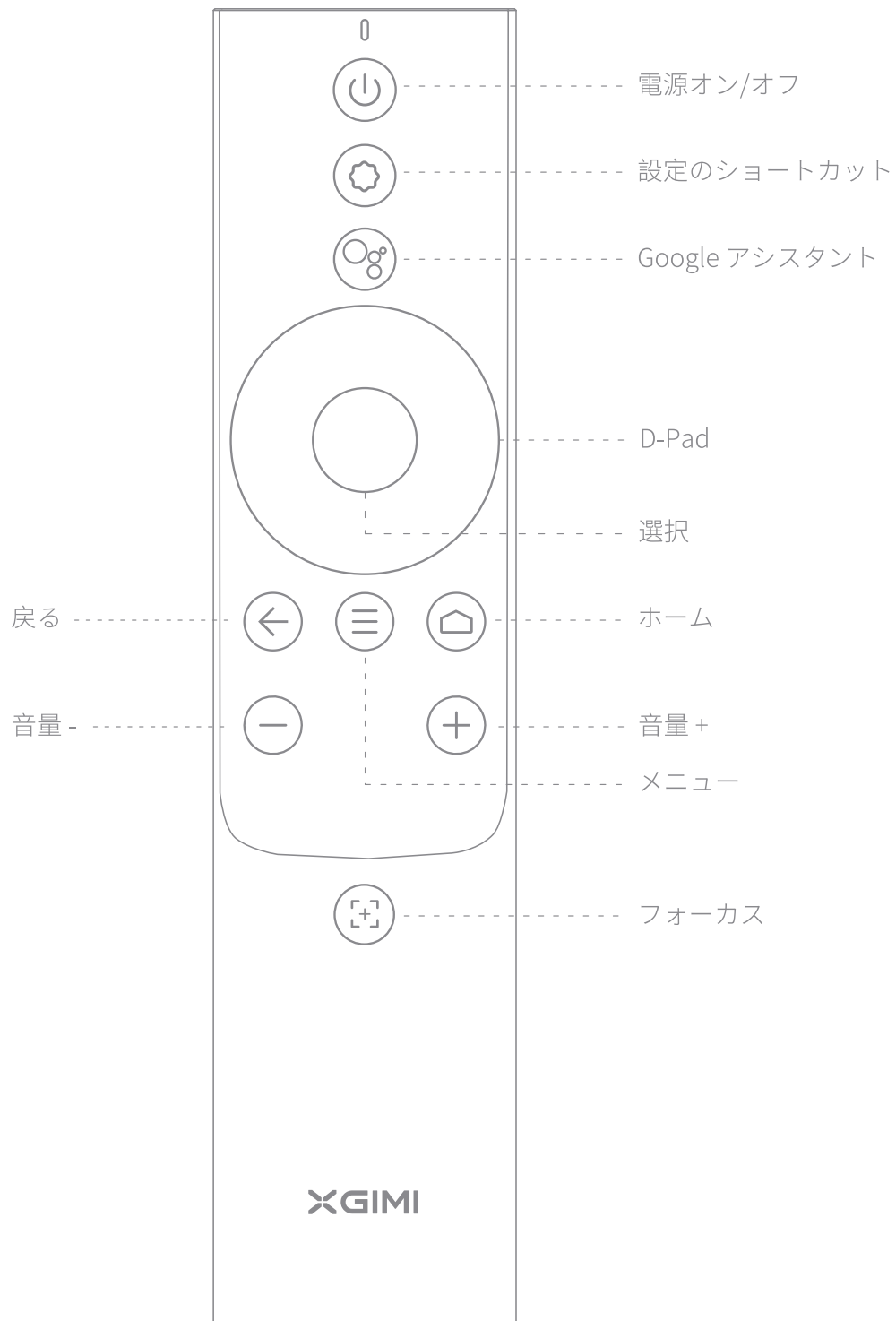
上面図



底面図

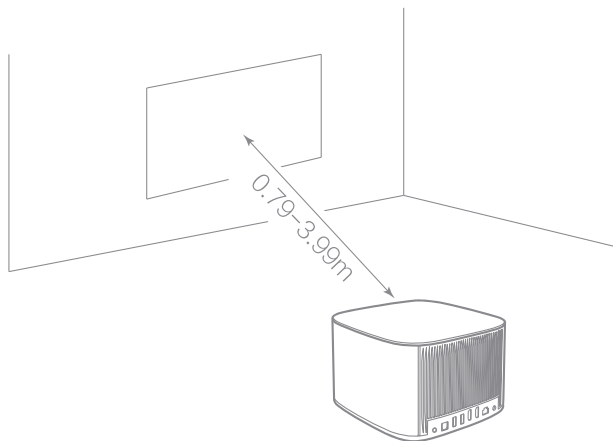


リモコン



はじめに

1. 視聴する距離を選択



プロジェクターを安定した平らな面に置き、レンズの方向を投影面に合わせます。

最適な投影効果を得るためには、投影面が白くて平らであることを確認してください。

プロジェクターと投影面の適切な距離は0.79mから3.99mです。この距離にすると、30～150インチの投影画像を表示できます。

* プロジェクターと投影面を直角に合わせる必要はありません。内蔵のキーストーンの自動補正機能とキーストーンの手動補正機能により、投影画像を補正することができます。

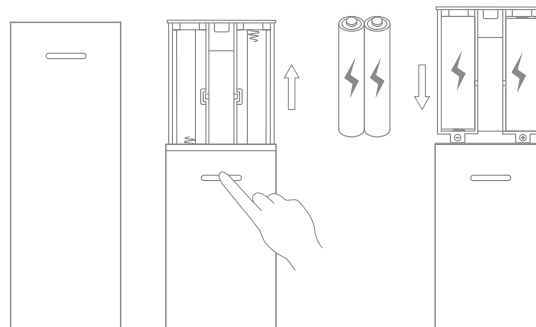
* 投影画像の大きさは、プロジェクターと投影面の距離によって決まります。最適な視聴効果を得るためには1.6mから2.66mまでの距離（60インチから120インチの画面）を推奨します。

2. リモコンの準備

① 初回使用時には、リモコン背面の電池ボックス引き出しボタンを押して電池ボックスを引き出し、単4乾電池2本をセットしてください。

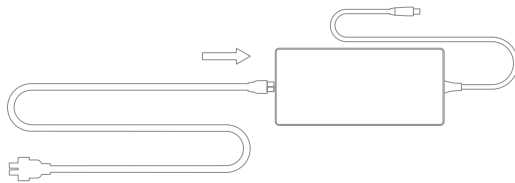
② 電池を入れるときは、電池の「+/-」のマークと、電池ボックスの「+/-」のマークを合わせて、電池ボックスをリモコンに押し込んでください。

電池交換が必要になった場合、上記の操作を繰り返してください。

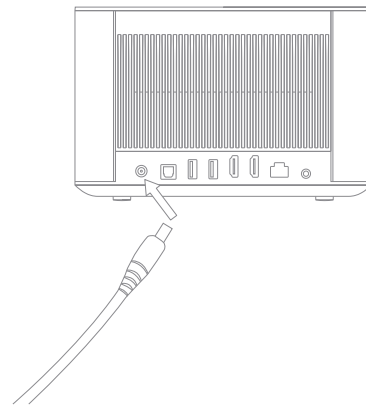


3.使い始める

- ① アダプターを電源コードに接続します。



- ② 電源アダプターをプロジェクターに接続した後、電源コードをコンセントに接続します。



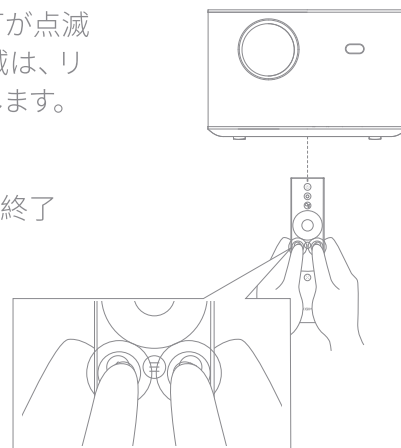
- ③ 電源に接続し、「」ボタンを押してデバイスをオンにします。



- ④ リモコンをペアリングします。

リモコンをデバイスの10 cm以内に近づけて、表示灯が点滅し始めるまで「」と「」を同時に押します。この点滅は、リモコンがペアリングモードに入っていることを意味します。発信音が鳴ったら接続完了です。

ペアリングに失敗した場合は、30秒後に終了します。終了後に、上記の手順を繰り返します。



⑤ Android TVを設定します。

リモコンのペアリングが完了したら、画面の指示に従ってAndroid TVの設定を行ってください。

(1) クイック設定

Android携帯電話をお持ちの方は、画面の指示に従って、Android TVの設定を簡単に行うことができます。

(2) XGIMI HORIZON PRO/XGIMI HORIZONを設定する

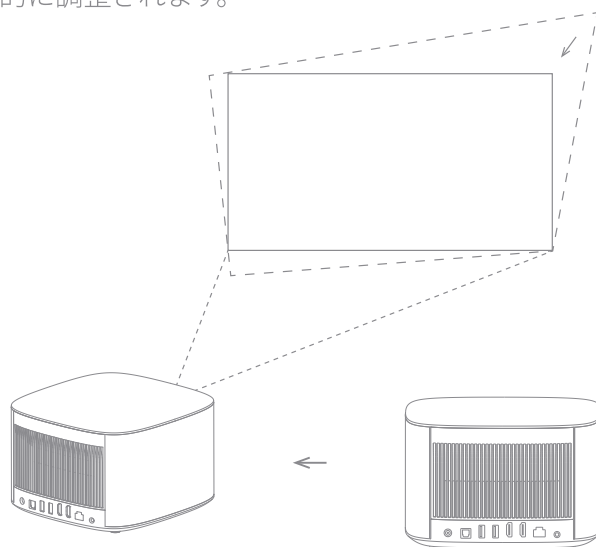
iOSをお使いの方は、以下の手順で設定を行ってください。

- 1) クイック設定をスキップします。
- 2) HORIZON PRO/HORIZON をネットワークに接続します。
- 3) Googleアカウントでログインします。

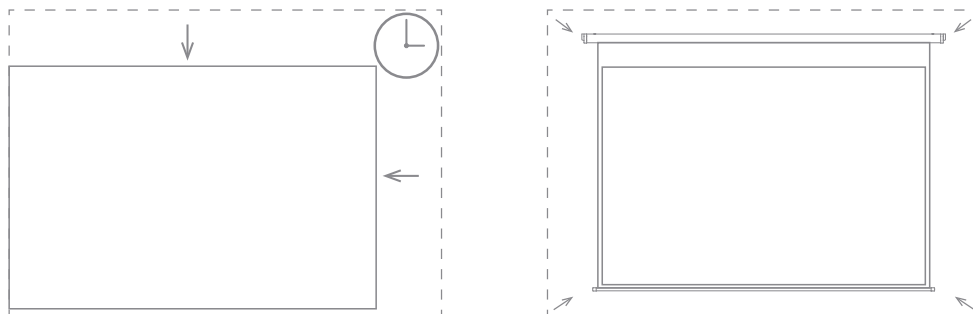
設定が完了すると、HORIZON PRO/HORIZONがAndroid TVで動作するようになります。

⑥ キーストーンの自動補正

自動台形補正機能が有効になっている場合、デバイスを別の場所に移動すると、フレームが自動的に調整されます。



自動障害物回避機能を有効にすると、投影エリアに障害物がある場合、フレームは自動的にそれらの障害物を回避します。自動画面調整機能を有効にすると、投影エリアに16:9または16:10の画面がある場合、フレームは自動的にその画面に合わせられます。



リモコンの「」ボタンを押して「Keystone Correction」（「キーストーンの補正」）ページに入ります。「Auto Keystone Correction」（「キーストーンの自動補正」）を選択すると、キーストーンの自動補正機能が有効になります。「Manual Keystone Correction」（「キーストーンの手動補正」）を選択すると、フレームの4つの頂点とサイズが調整されます。

⑦ オートフォーカス調整/リモートフォーカス調整

オートフォーカス調整機能が有効な場合は、デバイスの電源をオンにするかデバイスを別の場所に移動すると、フレームが自動的に調整されます。

「」を押して、オートフォーカスを有効にします。「」ボタンを長押しして手動によるフォーカス調整を有効にした後、「左/右」ボタンまたは「音量+/-」ボタンを押すことによって手動でフォーカスを調整できます。調整が完了したら、他のボタンを押して終了します。

*「プロジェクター設定」→「フォーカス設定」を開き、フォーカス機能を設定できます。



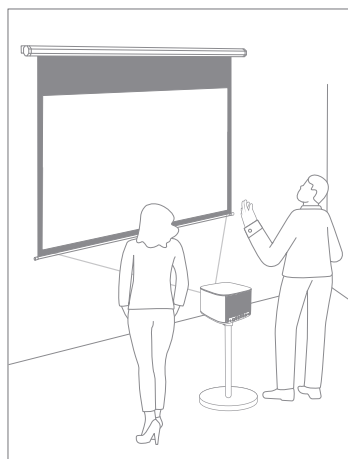
⑧ 設置方法

プロジェクターは、使用環境に応じて、デスクトップブラケット、シーリングブラケット、フロアブラケットなどの投影ブラケットを使って設置することができます。また、インターフェース上で異なる投影モードを選択することもできます。

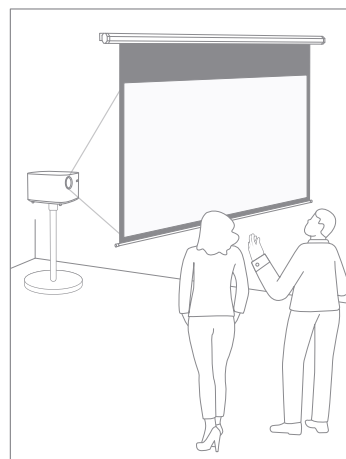
ホーム画面で  を選択して「プロジェクター設定」を開き、「投影モード」を開いて適切な投影モードを選択します。

「設定のショートカット」ボタンを押し、「すべての設定」→「プロジェクター設定」を選択し、「投影モード」を開いて適切な投影モードを選択します。

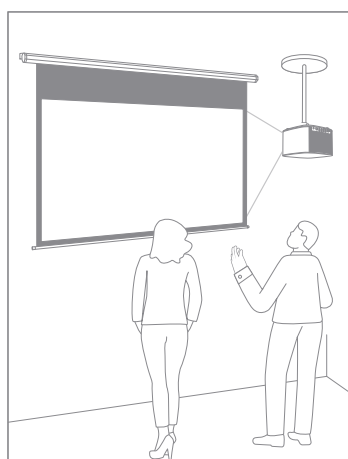
初期設定では、「自動上下反転」機能が有効になっています。この機能は、プロジェクターの実際の配置に基づいて画像を反転させることができます。この機能が不要な場合は、オフにすることができます。



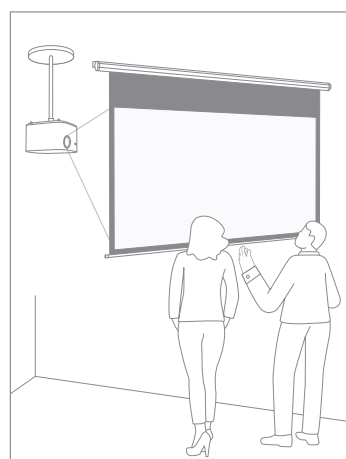
フロン



リア



フロント・天吊り



リア・天吊り

HORIZON PRO/HORIZONの使い方

HORIZON PRO/HORIZON を初めて使用する際には、以下の手順を実行してください。

1. ネットワークとインターネット

このプロジェクターは、ワイヤレスネットワーク (Wi-Fi) を介してインターネットに接続することができます。

ホーム画面で、 →「ネットワークとインターネット」を開き、Wi-Fiがオンになっていることを確認してから、接続する無線ネットワークを選択します。

「設定のショートカット」ボタンを押し、「すべての設定」→「ネットワークとインターネット」を選択し、Wi-Fiがオンになっていることを確認してから、接続する無線ネットワークを選択します。

モバイルデータを使用する場合は、「データセーバー」をオンにしてください。この機能は、ビデオの解像度を自動的に調整して、モバイルデータの使用量を削減します。「データ使用量と警告」機能は、データ使用量をリアルタイムに監視し、データ使用量の警告を送信します。

2. Android TV

プロジェクターをワイヤレスネットワークに接続すると、Android TVのオンラインサービスにアクセスして、映画や音楽、写真などを楽しむことができます。プリインストールされているアプリに加えて、Google Playから他のアプリをインストールしたり、Google アシスタントに日常生活をサポートしてもらうこともできます。

Google アシスタント機能を有効にするには、リモコンの「」ボタンを押します。

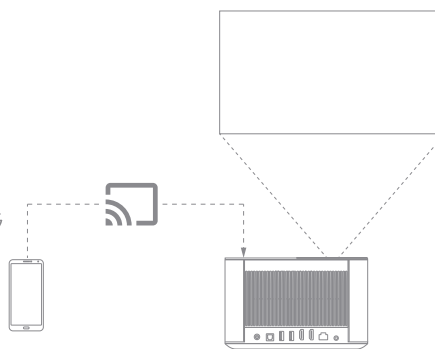
エンターテインメントへのアクセス、スマートデバイスのコントロール、画面への回答の表示などの操作を音声コントロールですばやく実行できます。

スマホやPCの写真、動画、音楽をワイヤレスでプロジェクターにキャストすることができます。

① Chromecast Built-in™対応の携帯電話やパソコンのアプリで動画を再生し、画面上で「」を選択します。

② 「XGIMI HORIZON PRO」 / 「XGIMI HORIZON」を選択すると、スマホやPCをプロジェクターにミラーリングできます。

注: プロジェクターと携帯電話またはPCが同じワイヤレスネットワークに接続されていることを確認してください。



3. XGIMIアプリ

File Manager

「File Manager」アプリを使って、デバイスのストレージや外部ストレージにあるファイルを表示します。

① ホーム画面で「 アプリ」をクリックしてアプリ一覧を表示し、「File Manager」を選択して、端末のストレージまたは外部ストレージを選択します。

② 「設定のショートカット」ボタンを長押しして、ファイルを管理します。「メニュー」ボタンを押すと、より多くの操作が表示されます。

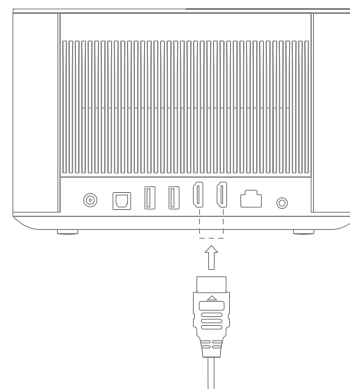
注: Android TVのセキュリティ要件により、外部ストレージデバイスからのファイルの読み取りのみ可能で、これらのファイルをコピー&ペーストすることはできません。

4. HDMI

HDMIケーブルをプロジェクターに接続すると、プロジェクターは自動的に信号源を切り替えます。また、ホーム画面で「」を選択すると、信号源を選択してアクセスすることもできます。

信号源がHDMIに切り替わったら、「」を押して「HDMIバージョン」を開き、HDMIバージョンを選択することができます。また、「アスペクト比」を開いて、ソースのアスペクト比を変更することもできます。

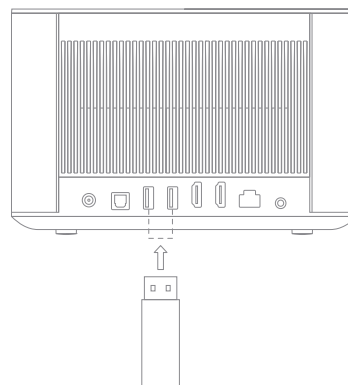
初期設定では、「HDMIコントロール」機能が有効になっています。この機能により、XGIMIのリモコンを使って外部のHDMIデバイスを操作することができます。この機能を無効にするには、「プロジェクター設定」→「その他」→「HDMIコントロール」を選択してオフにしてください。オフにした後は、ARC出力ができなくなります。



5. USB

USBポート経由でリムーバブルストレージデバイスをプロジェクターに接続すると、画面上にウィンドウがポップアップします。直接確認してファイルにアクセスすることができます。

また、ホーム画面で「 アプリ」を選択してアプリ一覧を表示し、「ファイルマネージャー」を開いてファイルにアクセスすることもできます。



6. Bluetooth

Bluetoothスピーカーを接続する

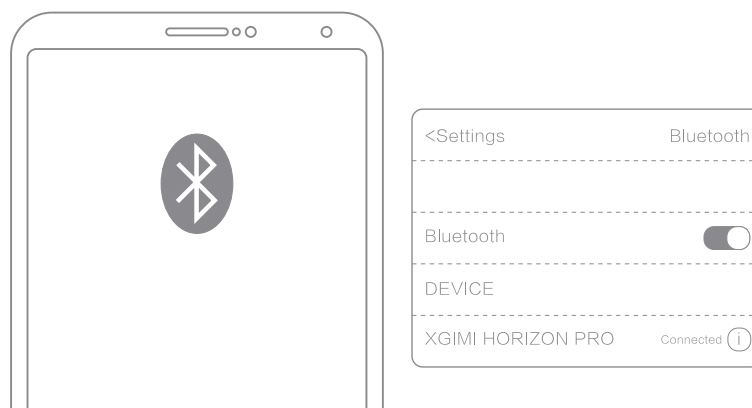
- ① 「システム設定」を開き、「リモートとアクセサリ」→「新しいデバイスの追加」を選択します。
- ② Bluetoothスピーカーを検索し、ペアリングします。

Bluetoothスピーカーの接続中にプロジェクターのスピーカーに戻すには、を押してから「サウンド出力」→「内蔵スピーカー」を選択します。

Bluetoothで音楽を再生する

モバイルのBluetooth設定を使用して「XGIMI HORIZON PRO」/「XGIMI HORIZON」を検索し、デバイスとペアリングして曲を再生します。

音楽の再生中に投影フレームをオフにする必要がある場合は、「電源」ボタンを押して「Display Off」(「ディスプレイオフ」)を選択できます。



設定

1. 設定のショートカット

また、「設定ショートカット」ボタン  をクリックすると、以下の機能にアクセスできます。

アプリをクリア

バックグラウンドのアプリのキャッシュをクリアして、デバイスの動作を高速化します。

画像モード

HDMI経由でコンテンツを視聴しているときやビデオを見ているときに、映画、サッカー、オフィス、ゲームなどのシーンごとに異なる画像モードを選択して、最適な視聴体験を楽しむことができます。画像パラメータをカスタマイズするには、カスタムモードを選択します。

注: ゲームモードはHDMIディスプレイでのみ有効で、MEMC(動き予測/動き補正)効果のない低レイテンシーモードです。さらに画像の遅延を減らすために、「低レイテンシー」モードを選択すると、キーストーンの補正効果が無効になります。

サウンドエフェクト

XGIMI HORIZON PRO/XGIMI HORIZONはプロフェッショナルなサウンドエフェクトを提供します。DTS Studio SoundとHarman Kardon。映画、音楽、スポーツといったさまざまなシナリオに応じて異なるサウンドエフェクトを選択し、最適なサウンド体験を得られるようにします。

3D動画設定

HDMIで3D動画を視聴しているときや、オンラインで3D動画を視聴しているときに、3Dモードをオン/オフすることができます。

2. プロジェクター設定

ホーム画面で、 選択して「プロジェクター設定」を開きます。 を押して、「すべての設定」→「プロジェクター設定」を選択することもできます。

輝度

輝度のモードを、標準、ブライト、視力保護などから選択し、輝度レベルを調整します。

映像の輝度や色をカスタマイズしたい場合は、カスタムモードを選択します。

「環境適応」機能が有効になると、デバイスは周囲の明るさに基づいて自動的に輝度を調整することができます。

キャリブレーション

「その他」を開くと、一部の機能のキャリブレーションを行うことができます。キャリブレーションプロセスを完了するには、画面の指示に従います。

フォーカスキャリブレーション

長期間使用したことにより、オートフォーカス調節機能が以前と比べて劣化した場合は、「Focus Calibration」(「フォーカスキャリブレーション」)でオートフォーカス調節機能を調整します。

注: キャリブレーション時は、デバイスが前面投影の状態で、壁面やスクリーンから1〜2メートル離れているようにしてください。

キーストーンキャリブレーション

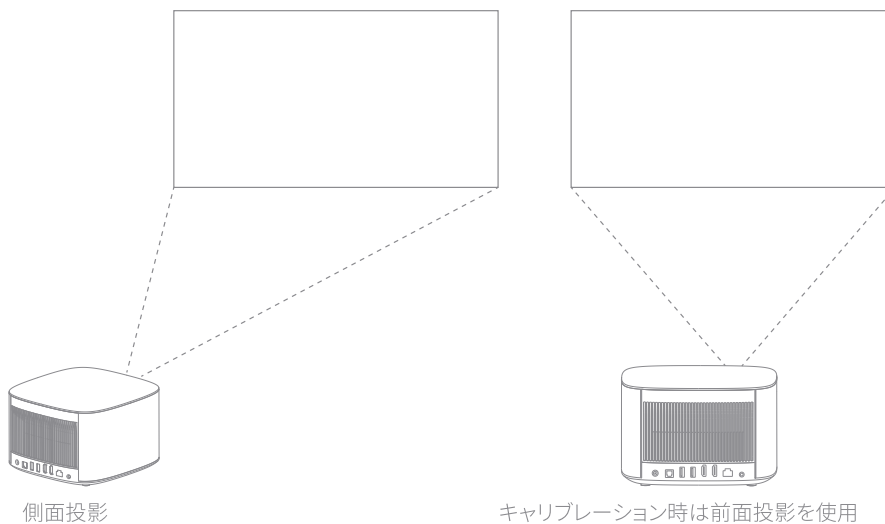
キーストーンの自動補正機能の効果が満足できない場合は、「Keystone Calibration」(「キーストーンキャリブレーション」)でキーストーンの自動補正機能を再キャリブレーションします。

注: キャリブレーション時は、デバイスが前面投影の状態で、壁面やスクリーンから1〜2メートル離れているようにしてください。

ジャイロキャリブレーション

長期間使用したことにより、キーストーンの自動補正機能が以前と比べて劣化している場合は、「Gyro Calibration」(「ジャイロキャリブレーション」)でジャイロを再キャリブレーションすると、キーストーンの自動補正の効果を最適化することができます。

注: キャリブレーション中は、デバイスが水平な状態で置かれているようにしてください。



3.デバイス設定

「デバイス設定」では、より多くの設定が可能です。よく使う設定は以下の通りです：

デバイス情報

デバイス情報やファームウェアバージョンの確認、ファームウェアアップデートの確認、プロジェクターのリセットなどを行います。

日付と時刻

日付と時刻を設定します。

言語

画面上の言語を選択します。

ストレージ

端末のストレージとリムーバブルストレージを確認します。

ホーム画面

ホームページをカスタマイズします。

Google アシスタント

Google アシスタントを設定します。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの設定と開始時間を設定します。

ユーザー補助

プロジェクターの操作が苦手な方のために、「ユーザー補助」機能を用意していますので、安心して製品をお使いいただけます。

仕様

表示方式	DLP
輝度	2200 ANSI Lumens
標準解像度	HORIZON PRO: 3840 x 2160 (4K)
	HORIZON: 1920 x 1080 (1080p)
最大対応解像度	4096 x 2160 @ 60Hz
HDR	HDR10, HLG
レンズ	高透過コーティングレンズ
投影率	1.2
台形補正	垂直: ±45度、水平: ±45度
投影モード	フロント, フロント・天吊り, リア, リア・天吊り
CPU	MT9629
GPU	Mali-G52
RAM	2GB
ストレージ	32GB
システム	Android 10.0
スクリーンミラーリング	Chromecast built-in
特徴	3D, 自動台形補正, 高速ブート, 輝度環境適応
スピーカー	Harman Kardon 8W x 2
DTS-HDと DTS Studio Sound	✓
Dolby	✓
ポート	DC x 1, HDMI-ARC x 1, HDMI x 1, USB 2.0 x 2, LAN x 1, OPTICAL x 1, 3.5mm AUDIO x 1
Wi-Fi	デュアルバンド 2.4/5 GHz, 802.11a/b/g/n
Bluetooth	Bluetooth 5.0
ノイズ	< 30dB
消費電力	< 200W
電源	AC100-240V, 50/60Hz

トラブルシューティング

1. アプリをインストールするにはどうすればいいですか？

- ① XGIMIはAndroid TVに対応しており、ネイティブのGoogle Play Storeを利用できます。Google Playからアプリをインストールできます。
- ② Uディスクやその他の外部ストレージデバイスからアプリをインストールします。初回のインストールでは、「ファイルマネージャー」と「UI構成」から未知のアプリをインストールすることに同意する必要があります。

2. キーストーンの補正後、外枠に不規則な影が残るのはなぜですか？

TIのDLP投影は、画面全体を埋めることができません。
真の解像度は、実際の表示領域のみを満たし、周囲の領域は使用されません。キーストーンの補正が完了すると、XGIMIプロジェクターはデジタル補正を行うため、表示領域の一部が影（未使用領域）になります。そのため、画像の背景に多少の影があるのは正常な状態です。

3. アダプターをプロジェクターに挿入した後、アダプターが温くなるのは正常なことですか？

当社のアダプターは、セキュリティ規定に基づいてテストされ、認証されています。通常、電力の伝達によって熱が発生したり、小さな摩擦音が発生することがありますが、気にする必要はありません。

4. 映像が映らない、音と映像がずれている場合はどうすればいいですか？

ワイヤレスプロジェクターの場合、アプリの性能やインターネットの速度によってこの問題が発生することがあります。
プロジェクターがHDMIやBluetoothスピーカーに接続されている場合は、接続デバイスのブランドや互換性の問題でこの問題が発生することがあります。

5. フォーカス機能が正常に動作しない場合はどうすればいいですか？

問題を解決するために、次の条件を確認してください。

- ① フォーカス設定でオートフォーカス機能がオンになっている。
- ② 投影レンズやセンサーモジュールの前に物が無い。

それでも問題が解決しない場合は、「システム設定」を開き、フォーカスキャリブレーションを行ってください。

ご不明な点がある場合は、service@xgimi.comまでお問い合わせください。

重要な注意事項

デバイスの正しい使用:

- ・ レンズを目に向けないでください。プロジェクターの強い光により目が損傷する恐れがあります。
- ・ デバイスの通常の放熱ができないと、内部電子機器が損傷する恐れがあるため、デバイスの空気出入口をふさがないでください。
- ・ レンズの損傷を防ぐため、紙や布が含まれる清掃用具でレンズを直接拭かないでください。レンズ表面のゴミは、きれいなエアブローで吹き飛ばしてください。
- ・ 回路基板が雨水、湿気、鉱物を含む液体によって腐食するのを防ぐため、化学薬品、洗剤、またはいかなる液体でもデバイスを洗浄しないでください。
- ・ デバイスおよびその構成部品や付属品は、お子様の手に届かないところに置いてください。
- ・ デバイスは必ず乾燥した換気の良い環境で使用されるようにしてください。
- ・ 極端な温度下では電子機器の寿命が短くなりますので、極度の高温または低温になる場所でデバイスを保管しないでください。デバイスは0°Cから40°Cまでの環境下に置いて、使用してください。
- ・ デバイスを加熱機器 (乾燥機や電子レンジなど) に入れて乾燥させないでください。
- ・ デバイスの損傷を防ぐため、デバイスを強く押し出したり、デバイス上やデバイスの背面に障害物を置いたりしないでください。
- ・ 内部回路基板の破損を防ぐため、デバイスを投げつけたり、叩いたり、激しく振動させたりしないでください。
- ・ お客様ご自身によるデバイスの分解や組み立てを行わないでください。問題が発生した場合は、XGIMIのアフターサービスに連絡してください。
- ・ お客様ご自身による修理を行わないでください。デバイスまたは構成部品が正常に動作しない場合は、XGIMIのアフターサービスへ適時に連絡するか、修理のために工場に返送してください。

FCC警告

本デバイスはFCC規則のPart 15の規定に適合しています。動作においては、次の2つの条件を遵守しています。(1) 本デバイスは、有害な干渉を引き起こさないこと、および(2) 本デバイスは、偶発的な操作をもたらす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れなければならないこと。ユーザーマニュアルまたは操作説明書は、責任を有する法令遵守当事者からの明示的な承認なく意図的または非意図的にラジエーターを変更および交換すると、ユーザーによる本デバイスの操作ができなくなる可能性についてユーザーが想起できるような記載を含んでいるものとします。マニュアルが紙以外の形態で提供される場合、たとえばインターネットからコンピュータのディスクを介して提供される場合、本項で要求される情報は、ユーザーが当該形態の情報にアクセスできることを前提として、代替形態でマニュアルに含めることができます。

クラスBのデジタルデバイスまたは周辺機器の場合、ユーザーによって提供される指示には以下の記述または類似の記述を含めるものとし、それらをマニュアル内の目立つ場所に記載するものとします。

注: 本デバイスは、FCC規則のPart 15に準拠したクラスBのデジタルデバイスに対する制限に適合していることについてテスト済みです。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉を効果的に防止することを目的としています。指示に従って設置および使用しない場合、本デバイスは高周波エネルギーを発生および放射し、無線通信に有害な干渉を及ぼす可能性があります。ただし、特定の設置において干渉が発生しないという保証はありません。本デバイスによってラジオまたはテレビ電波の受信に有害な干渉が発生した場合(本デバイスの起動および停止によって判別可能)、ユーザーは以下の1つまたは複数の方法で干渉を修正することが推奨されます。

- 受信アンテナの向きを変える。
- 本デバイスと受信機との間の距離を広げる。
- 受信機が接続されている電源コンセントとは別のコンセントに機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの経験のある技術者にサポートを依頼する。
- 本デバイスはスレーブとして機能し、2.4 GHz (2402~2480 MHz、2412~2462 MHz) 帯域または 5 GHz (5.180 GHz~5.240 GHz、5.260 GHz~5.320 GHz、5.500 GHz~5.700 GHz、5.745 GHz~5.825 GHz) 帯域で動作します。

あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に当てないでください、RG2 IEC 62471-5:2015



CEメンテナンス

1. ヘッドホンやイヤホンで大音量で聞き続けると、難聴になりかねないので注意が必要です。
2. 本製品は、バージョンUSB2.0のUSBインターフェイスにのみ接続するものとします。
3. アダプターはデバイスの近くに設置し、簡単に取り扱えるようにします。
4. EUT動作温度範囲: 0°C~40°C。
5. アダプター:
プラグは、アダプターの切断デバイスと見なされます。
電源およびADP (定格):
① 入力: AC 100V~240V、50/60 Hz 4.0 A
出力: DC 19.0 V、13.16 A
② 入力: AC 200~240 V、50 Hz 2.0 A
出力: DC 19.0 V、11.58 A
6. 本デバイスは、人体から20cm離れた場所で使用した場合に、RF仕様に適合するものとなります。
7. 聴覚を損なう恐れがあるため、大きい音量で長時間聞かないでください。



適合宣言

Chengdu XGIMI Technology Co., Ltd. は、本製品が指令 2014/53/EUの必須要件およびその他の関連規定に適合していることをここに宣言します。

本製品は、一部のEU加盟国での使用が許可されています。たとえば、以下の加盟国での使用が可能となります。

5.15~5.25GHz帯での操作は、屋内使用に限定されます。

この周波数は、サービスの使用開始に対する制限または使用認可の要件が存在する以下の加盟国または加盟国内の地理的区域に適用されます。

CE

BE	HR	AT
BG	IT	PL
CZ	CY	PT
DK	LV	RO
DE	LT	SI
EE	LU	SK
IE	HU	FI
EL	MT	SE
ES	NL	UK
FR		

放射線被ばくに関する声明

リモコンについて、本デバイスは、非制御環境に対して規定されたFCC放射線被ばくに関する制限を使用して準拠しています。

送信機は、その他のアンテナまたは送信機と組み合わせて設置したり操作しないものとしします。

LEDプロジェクターについて、本デバイスは、非制御環境に対して規定されたFCC放射線被ばくに関する制限に適合しています。本デバイスの設置および操作においては、ラジエーターと本体の間の距離が20 cm以上である必要があります。

注: 5150～5250 MHzの周波数範囲は、屋内使用に限定されます。

この周波数は、サービスの使用開始に対する制限または使用認可の要件が存在する以下の加盟国または加盟国内の地理的区域に適用されます。

使用済み製品の廃棄手順:



本製品は、リサイクル可能な高品質の材料および構成部品を使用して設計および製造されています。



製品上のこの記号は、指令2012/19/EUに基づいて製品が保護されていることを示します。



RoHS

* メーカー指定またはメーカー提供の付属品/周辺機器 (専用の電源アダプターなど) のみを使用してください。

* 本製品は有害な光を放射する可能性がありますのでご注意ください。



Low Blue Light
(Hardware
Solution)

www.tuv.com
ID 0217008581

ブルーライトに過剰にさらされることにより、眼精疲労や睡眠障害などの問題が発生する可能性があります。本製品はドイツの認証機関のTÜV Rheinland(テュフラインランド)に認定されたブルーライト軽減機能が備えていることによって、目にかかる負担を軽減することができます。

目を守るため、ディスプレイを集中して長時間見ることは避けましょう。目が疲れたとき、遠くの景色を見て目のストレッチをするなどにして、目を休ませることに気を配りましょう。

Please read the Product Instructions carefully before using the product

Thank you for purchasing and using the products of Chengdu XGIMI Technology Co., Ltd. (hereinafter referred to as "XGIMI Technology" or "XGIMI"). You should read the Product Instructions carefully before using this product for both your safety and interests.

XGIMI Technology disclaims all responsibilities for any personal injury, damage to property, or other loss that may occur as a result of improper or unsafe use of this product.

About the Product Instructions (hereinafter referred to as the "Instructions")

The copyright of the Instructions belongs to XGIMI Technology.

Trademarks and names mentioned in the Instructions belong to their respective right owners.

In case of inconformity between the content of the Instructions and the actual product, the actual product shall prevail.

Any objections to any content or clause found within the Instructions should be reported to XGIMI Technology in written form within 7 days after the purchase; otherwise, it will be assumed that you agree to, understand, and accept all the content of the Instructions.

Google, Android TV and Chromecast built-in are trademarks of Google LLC.

Google Assistant is not available in certain languages and countries. Availability of services varies by country and language.



HDMI High-Definition Multimedia interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.



For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, DTS-HD, DTS Studio Sound, and the DTS-HD logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries. © 2020 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

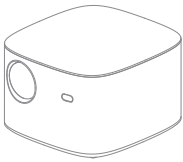


Dolby, Dolby Audio, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

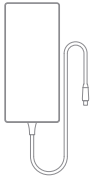
* Model: XK03H/XK03K

* XGIMI Technology reserves the right to interpret and amend the Instructions.

What's Included



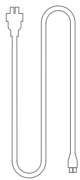
XGIMI projector



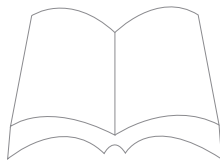
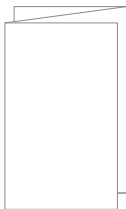
Adapter



Remote control



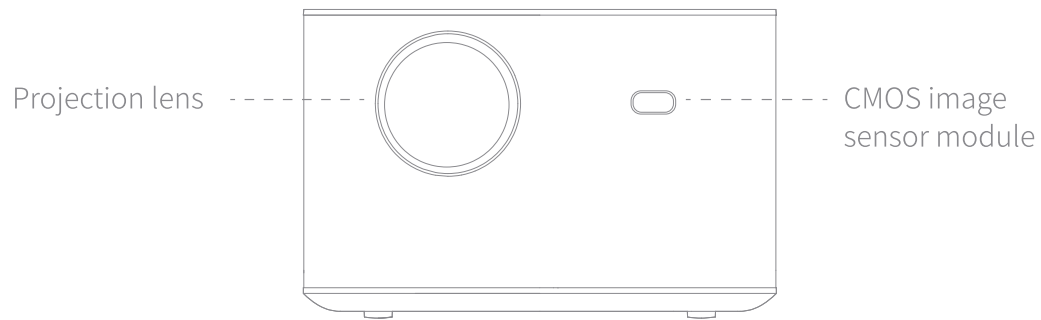
Power cord



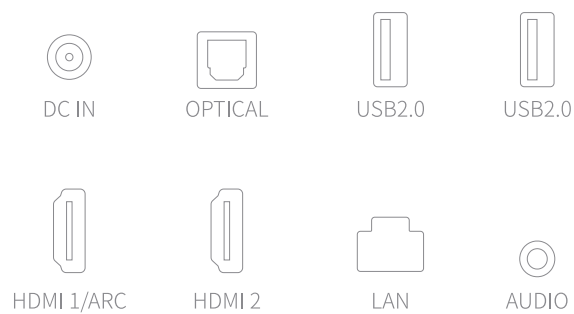
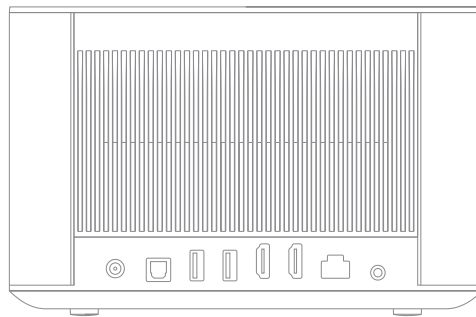
Instruction manual, and
warranty card

Overview

Front view



Rear view



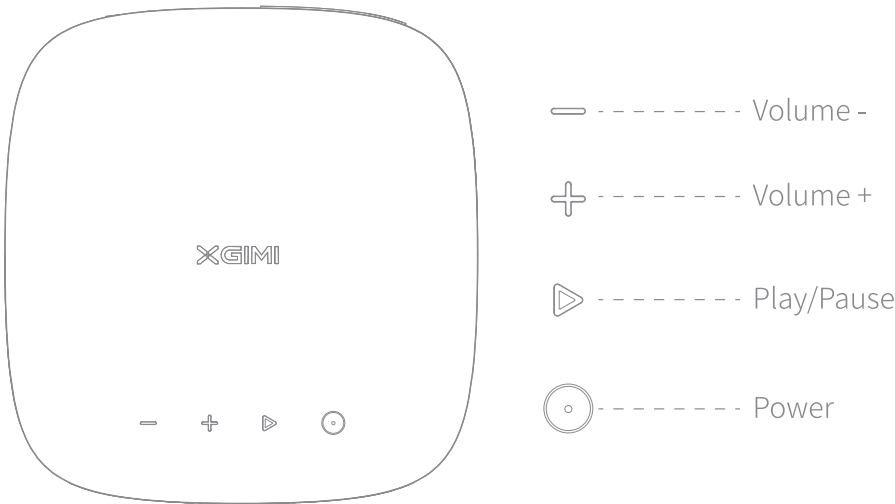
* Do not block the projection lens and the sensor module. Otherwise, the picture may be unclear after auto focusing or the auto keystone correction function cannot work properly.

* Use HDMI 2.0 cables when using HDMI 2.0 interfaces

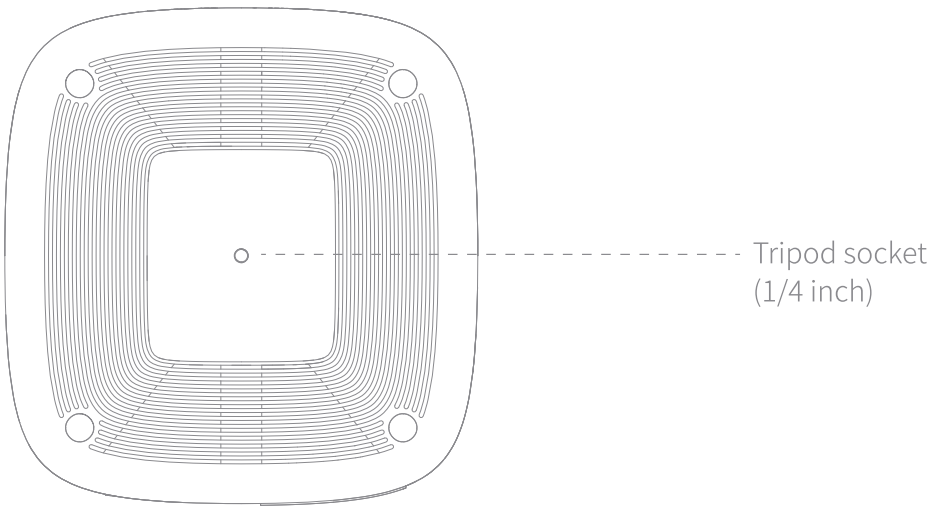
LED indicator guide

LED indicator guide	LED status	Description
	Steady-on	The device is "Display Off" and powered on
	Flashing	The device is being powered on or off.
	Blinking	The firmware is being updated.

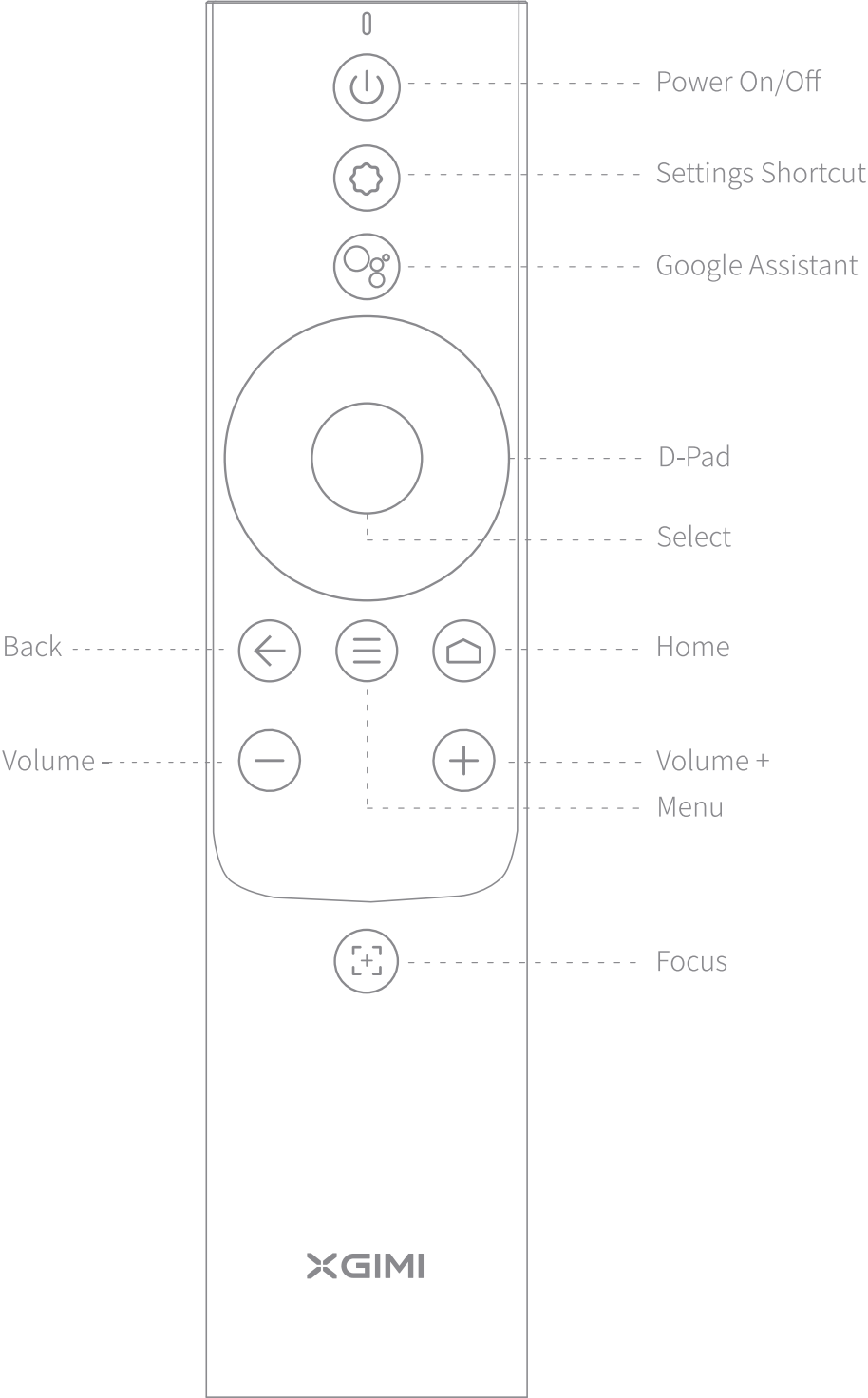
Top view



Bottom view



Remote control



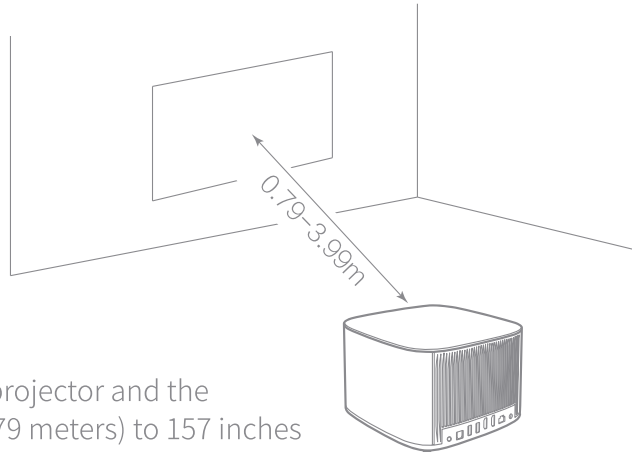
Getting Started

1. Choose the viewing distance

Place the projector on a stable flat plane and align the lens direction with the projection plane.

To ensure an optimal projection effect, make sure that the projection plane is white and flat.

A proper distance between the projector and the projection plane is 31 inches (0.79 meters) to 157 inches (3.99 meters). This can display a projection picture of 30 to 150 inches.



* You do not need to align the projector with the projection plane at a right angle. The built-in auto keystone correction function and the manual keystone correction function can correct the projection picture.

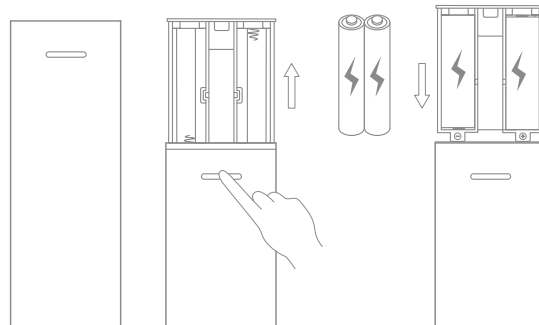
* The size of the projection picture is determined by the distance between the projector and the projection plane. To obtain an optimal viewing effect, we recommend a distance between 63 inches and 104 inches (a picture of 60 inches to 120 inches).

2. Prepare the remote

① Upon the first use, press the battery compartment release button on the back of the remote control, take out the battery compartment, and then install two AAA batteries.

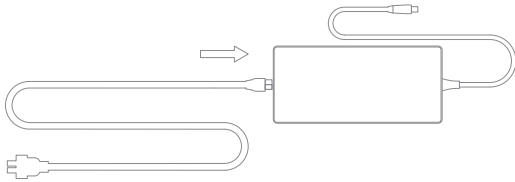
② When you install the batteries, make sure that the + and – symbols on the batteries match the + and – symbols in the battery compartment, and then press the battery compartment into the remote control.

If you need to replace the batteries later, repeat the preceding operations.

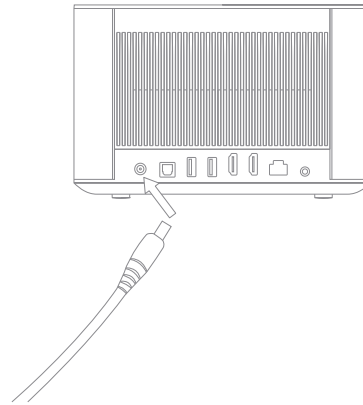


3. Get started

- ① Connect the adapter to the power cord.



- ② After the power adapter is connected to the projector, connect the power cord to the power socket.



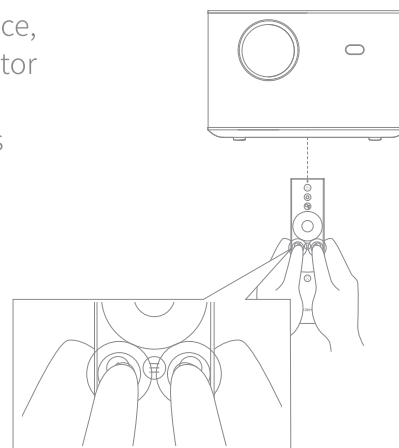
- ③ Connect to the power source, and press the "⊙" button to turn on the device.



- ④ Remote control pairing

Place the remote control within 10 cm of the device, press "↵" and "⏮" simultaneously until an indicator light begins flashing. This means that the remote control enters the pairing mode. When a "Ding" is heard, the connection is successful.

If the pairing fails, it will exit after 30 seconds. Repeat the above steps after exiting.



⑤ Android TV setup

After the remote control is paired, follow the instructions on the screen to complete the Android TV setup.

(1) Quick setup

Android phone users can follow the instructions to quickly set up Android TV with their phones.

(2) Set up XGIMI HORIZON PRO/XGIMI HORIZON

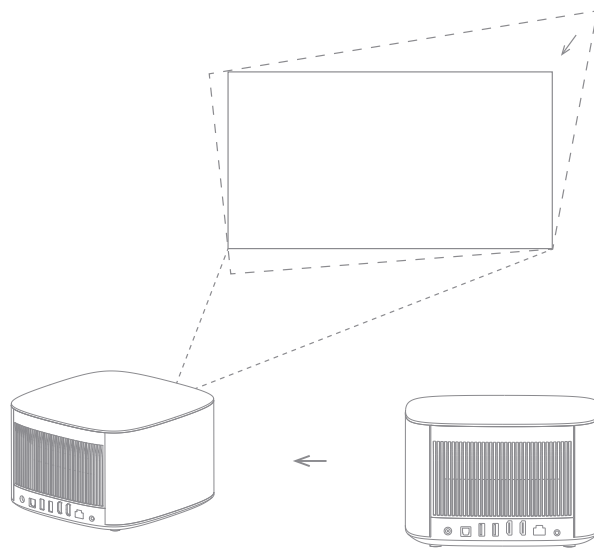
For iOS users, follow the instructions below to complete the setup:

- 1) Skip the quick setup process.
- 2) Connect HORIZON PRO/HORIZON to the network.
- 3) Log in with your Google account.

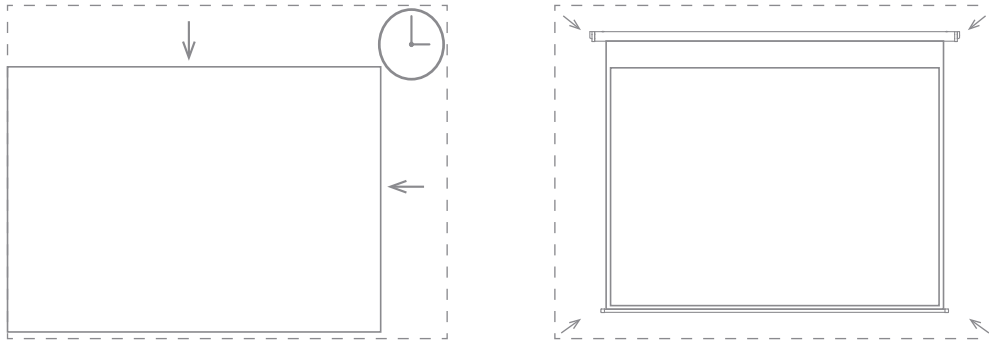
Your HORIZON PRO/HORIZON will be powered by Android TV after the setup process is complete.

⑥ Keystone Correction

When the automatic keystone correction function is enabled, the frame will be adjusted automatically if you move the device to another location.



When the automatic obstacle avoidance function is enabled, the frame will automatically avoid obstacles if there are obstacles in the projection area. When the automatic screen alignment function is enabled, the frame will automatically match the screen if there is a 16:9 or 16:10 screen in the projection area.



Press the "⌂" button on the remote control to enter the "Keystone Correction" page. Select "Auto Keystone Correction" to enable the automatic keystone correction function. Select "Manual Keystone Correction" to adjust the four points and the size of the frame.

⑦ Automatic focus adjustment/Remote focus adjustment

When the automatic focus adjustment function is enabled, the frame will be adjusted automatically when you turn on the device or move it to another location.

Enable automatic focus by pressing "⌂". After holding on to the "⌂" button to enable manual focus adjustment, you can manually adjust the focus by pressing the "left/right" button or the "VOL+/-" button. After the adjustment, you can press other buttons to exit.

* You can open "Projector Settings" -> "Focus Settings" to configure the focus function.



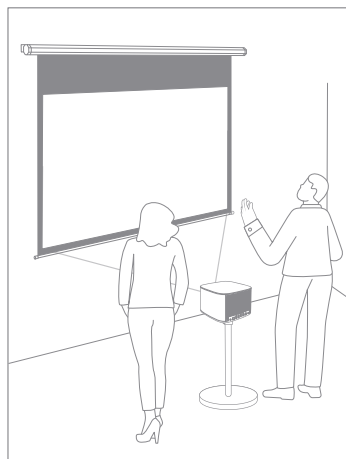
⑧ Placement

You can install the projector through a projection bracket, such as a desktop bracket, ceiling bracket, or floor bracket based on different usage environments. You can also select different projection modes on the interface:

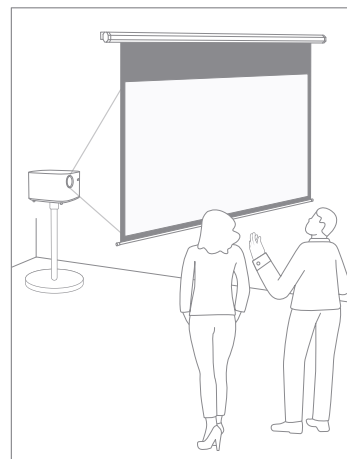
On the home page, select  to open "Projector Settings", and then open "Projection Placement" to select an appropriate projection mode.

Press the "Settings Shortcut" button, select "All Settings" -> "Projector Settings", and then open "Projection Placement" to select an appropriate projection mode.

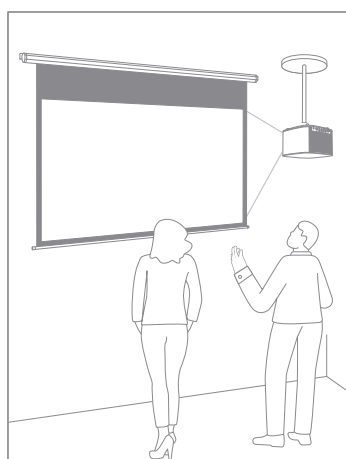
The "Auto Vertical Flip" function is enabled by default. This function can flip the picture based on the actual placement of the projector. If you do not need this function, you can turn it off.



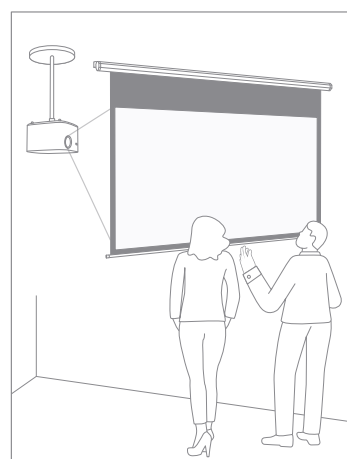
Front



Rear



Front Ceiling



Rear Ceiling

Using HORIZON PRO/HORIZON

Upon the first use of HORIZON PRO/HORIZON, perform the following steps:

1. Network & Internet

This projector can be connected to the Internet through a wireless network (Wi-Fi).

On the home page, select  -> "Network & Internet", make sure that Wi-Fi is turned on, and then select a wireless network to connect.

Press the "Settings Shortcut" button, select "All Settings" -> "Network & Internet", make sure that Wi-Fi is turned on, and then select a wireless network to connect.

When you use mobile data, turn on "Data Saver". This function automatically adjusts the video resolution to reduce your mobile data usage. The "Data Usage and Alerts" function monitors data usage in real time and sends you data usage warnings.

2. Android TV

After the projector is connected to a wireless network, you can access the online services of Android TV to enjoy movies, music, and pictures. In addition to the preinstalled apps, you can also install other apps from Google Play and ask your Google Assistant to help you with your daily routines.

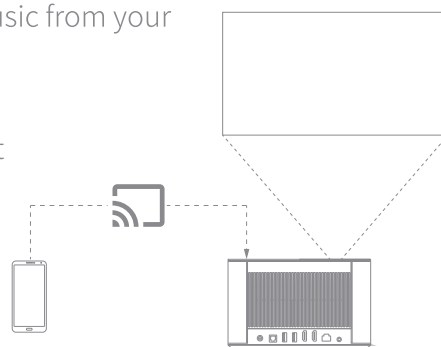
You can enable the Google Assistant function by pressing the "" button on the remote control.

Through voice control, you can quickly access entertainment, control smart devices, get answers onscreen, and perform other operations.

You can wirelessly cast photos, videos, and music from your mobile phone or PC onto your projector.

- ① Play a video clip with the app on your mobile phone or PC that supports Chromecast Built-in™, and then select  on the screen.
- ② Select "XGIMI HORIZON PRO" or "XGIMI HORIZON" to mirror your phone or PC to the projector.

Note: Make sure that the projector and your phone or PC are connected to the same wireless network.



3. XGIMI apps

File Manager

Use the File Manager app to view the files on the device storage or external storage.

① On the home page, click  Apps to open the app list, select "File Manager", and then select the device storage or an external storage device.

② Press and hold on to the "Settings Shortcut" button to manage files. Press the "Menu" button for more actions.

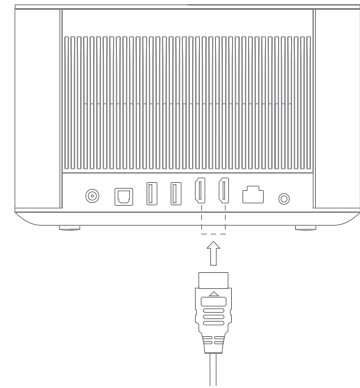
Note: According to the security requirements of Android TV, you can only read files from external storage devices, but cannot copy and paste these files.

4. HDMI

When an HDMI cable is connected to the projector, the projector will automatically switch the signal source. You can also select  on the home page to choose and access the source.

When the source is switched to HDMI, you can press  to open "HDMI Version" to select an HDMI version. You can also open "Aspect Ratio" to change the aspect ratio of the source.

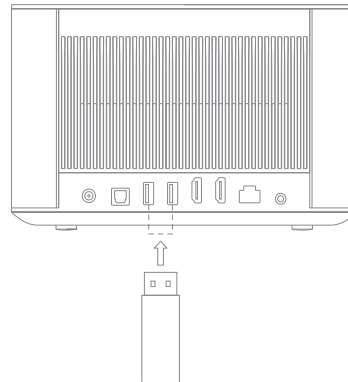
The "HDMI Control" function is enabled by default. This function enables you to use the XGIMI remote control to control external HDMI devices. To disable this function, select "Projector Settings" -> "Others" -> "HDMI Control" to turn it off. After it is turned off, ARC output is no longer available.



5. USB

When a removable storage device is connected to the projector via the USB port, a window will pop up on the screen. You can directly confirm to access files.

You can also select  Apps on the home page to open the app list, and then open File Manager to access files.



6. Bluetooth

Connect a Bluetooth speaker

① Open "System Settings" and select "Remotes & Accessories" -> "Add New Device".

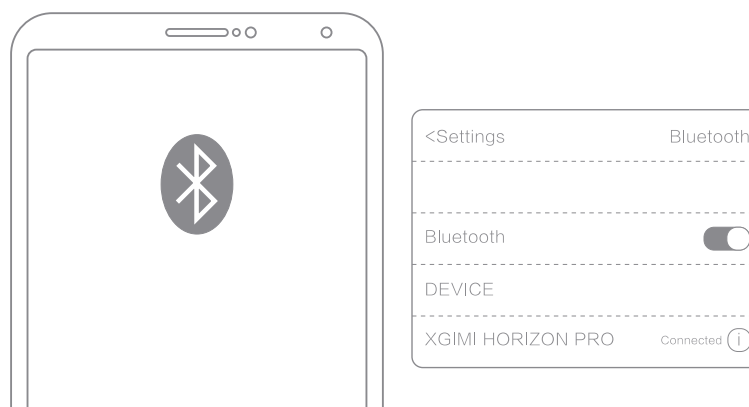
② Search for and pair a Bluetooth speaker.

To switch back to the projector speaker while the Bluetooth speaker is connected, press  and then select "Sound Output" -> "Internal Speaker".

Play music via Bluetooth

Use mobile Bluetooth settings to search for "XGIMI HORIZON PRO" or "XGIMI HORIZON" to pair with the device and play songs.

If you need to turn off the projection frame during music playback, you can press the "Power" button and select "Display Off" .



Settings

1. Settings shortcut

The "Settings Shortcut" button  also provides the following functions:

Clear apps

Clear the background app cache to make your device run faster.

Image mode

While you are watching content via HDMI or watching a video, select different image modes in different scenarios, such as movie, football, office, and game, to enjoy the optimal viewing experience. To customize the image parameters, you can select the custom mode.

Note: The game mode takes effect only for HDMI displays, which is a low-latency mode without the motion estimation, motion compensation (MEMC) effect. To further reduce the picture latency, select the "Low Latency" mode, which will invalidate the keystone correction effect.

Sound effect

Horizon offers you professional sound effects: DTS Studio Sound and Harman Kardon. Select different sound effects in different scenarios, such as movie, music, and sport, to enjoy the optimal sound experience.

3D video setup

While you are watching a 3D video via HDMI or watching an online 3D video, you can turn on or off the 3D mode.

2. Projector settings

On the home page, select  to open "Projector Settings". You can also press  and select "All Settings" -> "Projector Settings".

Brightness and color

Select a brightness mode, such as standard, bright, eye-protection, and adjust the brightness level.

To customize the brightness and color of the picture, you can select the custom mode.

If the "Environmental Adaptation" function is enabled, the device can automatically adjust the brightness based on the ambient brightness.

Calibration

You can open "Others" to calibrate some functions. Follow the instructions on the screen to complete the calibration process.

Focus calibration

If the automatic focus adjustment function is not as good as before after long-term use, you can tune the automatic focus adjustment function through "Focus Calibration".

Note: When calibrating, make sure that the device is in the front projection state and that it is 1 to 2 meters away from the wall or screen.

Keystone calibration

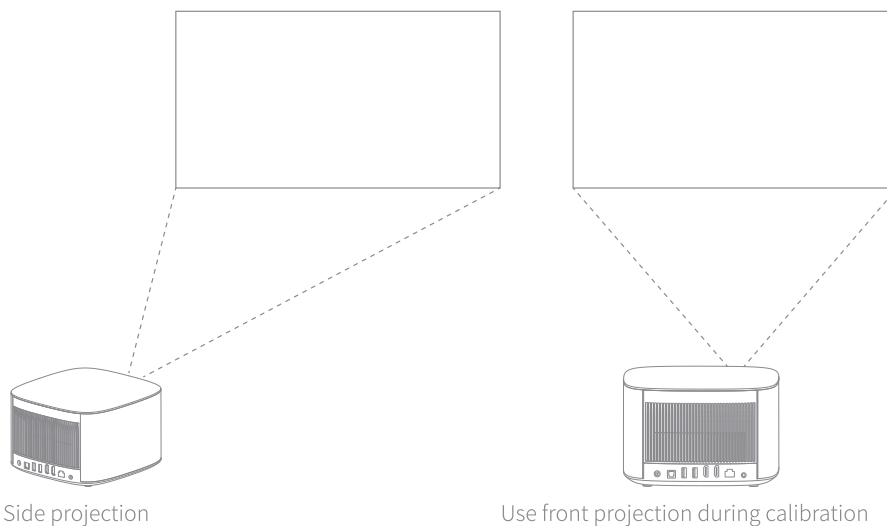
If you are not satisfied with the effect of the automatic keystone correction function, you can recalibrate the automatic keystone correction function through "Keystone Calibration".

Note: When calibrating, make sure that the device is in the front projection state and that it is 1 to 2 meters away from the wall or screen.

Gyro calibration

If the automatic keystone correction function is not as good as before after long-term use, you can recalibrate the gyro through "Gyro Calibration" to optimize the effect of automatic keystone correction.

Note: Make sure that the device is placed horizontally during calibration.



3. Device preferences

More settings are available in "Device Preferences". The following settings are commonly used:

About

Check the device information and firmware version, check for firmware updates, and reset your projector.

Date & Time

Set the date and time.

Language

Select the on-screen language.

Storage

Check the device storage and removable storage.

Home screen

Personalize your home page.

Google Assistant

Set up your Google Assistant.

Screen saver

Set up the screen saver and its start time.

Accessibility

For users who have difficulty working with the projector, the "Accessibility" function is provided to help you use the product with ease.

Specifications

Display technology	DLP
Luminance	2200 ANSI Lumens
Standard resolution	HORIZON PRO: 3840 x 2160 (4K)
	HORIZON: 1920 x 1080 (1080p)
Maximum supported resolution	4096 x 2160 @ 60Hz
HDR	HDR10, HLG
Lens	High Light Transmission Coated Lens
Throw ratio	1.2
Keystone correction	Vertical: ± 45 Degrees, Horizontal: ± 45 Degrees
Projection placement	Front, rear, front ceiling, rear ceiling
CPU	MT9629
GPU	Mali-G52
RAM	2GB
Storage	32GB
System	Android 10.0
Screen mirroring	Chromecast built-in
Specialty	3D, Auto keystone correction, Quick boot, Auto brightness
Speaker	Harman Kardon 8W x 2
DTS-HD & DTS Studio Sound	✓
Dolby	✓
Ports	DC x 1, HDMI-ARC x 1, HDMI x 1, USB 2.0 x 2, LAN x 1, OPTICAL x 1, 3.5mm AUDIO x 1
Wi-Fi	Dual-band 2.4/5 GHz, 802.11a/b/g/n
Bluetooth	Bluetooth 5.0
Noise	< 30dB
Power dissipation	< 200W
Power	AC100-240V, 50/60Hz

Troubleshooting

1. How do I install apps?

- ① XGIMI supports Android TV with the native Google Play Store. You can install apps from Google Play.
- ② Install apps from your U disk or other external storage devices. For the first installation, you need to agree to install unknown apps from File Manager and UI Configuration.

2. Why does the outer frame leave an irregular shadow after keystone correction?

TI DLP projections cannot fill the whole screen. The true resolution fills only the actual display area and leaves the surrounding area unused. After a keystone correction is complete, some of the display area will become shadow (unused) because XGIMI projectors use digital correction. Therefore, it is normal to have some shadow in the background of the picture.

3. Is it normal that the adapter gets warm after it is inserted into the projector?

Our adapters are tested and certified by security regulations. Normally, the electric power transmission can cause heat or small friction sound, which should not be a concern.

4. What can I do when there is no picture or when the sound and picture are not in sync?

For wireless projections, this issue may occur due to the app performance or the Internet speed.

If the projector is connected to HDMI or Bluetooth speaker, this issue may occur due to the brand and compatibility issues of the connected device.

5. What can I do if the focusing function does not work properly?

To resolve this issue, verify the following conditions:

- ① The auto focusing function is turned on in the focus settings.
 - ② No object is in front of the projection lens or the sensor module.
- If this issue persists, open "System Settings" to perform focus calibration.

If you still have questions, please contact service@xgimi.com.

使用本产品之前，请仔细阅读本产品说明书

感谢您购买和使用成都极米科技有限公司 (以下简称“极米科技”或“极米”) 的产品。使用本产品之前应仔细阅读“产品说明书”，以维护您的安全和利益。

如果您未按照产品说明书或注意事项操作，而导致任何的人身伤害、财产或其他损失，极米科技将不承担任何责任。

关于本产品说明书 (以下简称“说明书”)

说明书版权属于极米科技所有。

说明书中提及的商标、字号属于其各自的权利拥有者。

说明书内容如与实际产品不一致，以实际产品为准。

如果您对本说明书的任何内容或条款存在异议，请于购买后七日内向极米科技提出异议；否则视为您同意、理解并接受本说明书的全部内容。

Google、Android TV 和 Chromecast built-in 是 Google LLC 的商标。

Google Assistant 不支持某些语言版本，并且在某些国家/地区尚且无法使用。服务的可用性因国家/地区和语言而异。



HDMI High-Definition Multimedia Interface 和 HDMI 标志是 HDMI Licensing Administrator, Inc. 的商标或注册商标。



如需 DTS 专利的相关信息，请参阅 <http://patents.dts.com>。由 DTS Licensing Limited 授权制造。DTS、DTS-HD、DTS Studio Sound 和 DTS-HD 标志是 DTS, Inc. 在美国和其他国家/地区的注册商标或商标。© 2020 DTS, Inc. 保留所有权利。

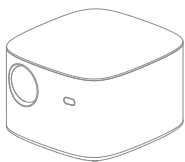


由杜比实验室授权制造。Dolby、Dolby Audio 和双 D 符号是 Dolby Laboratories Licensing Corporation 的商标。

* 型号: XK03H/XK03K

* 极米科技保留解释和修改说明书的权利。

包含物品



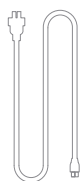
极米投影仪



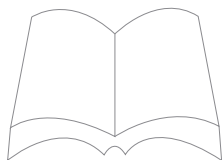
适配器



遥控器



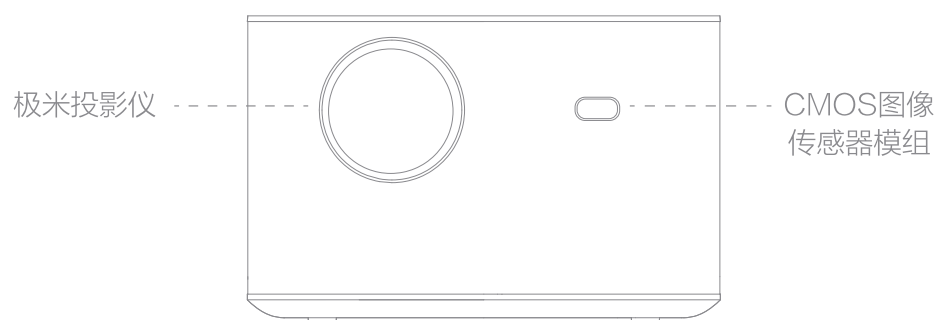
电源线



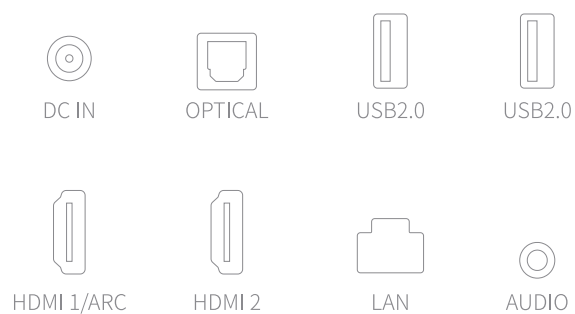
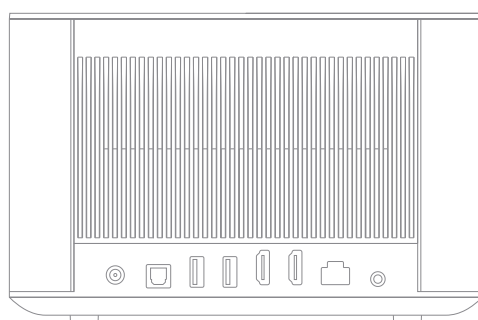
说明书、质保卡

概览

正面



背面



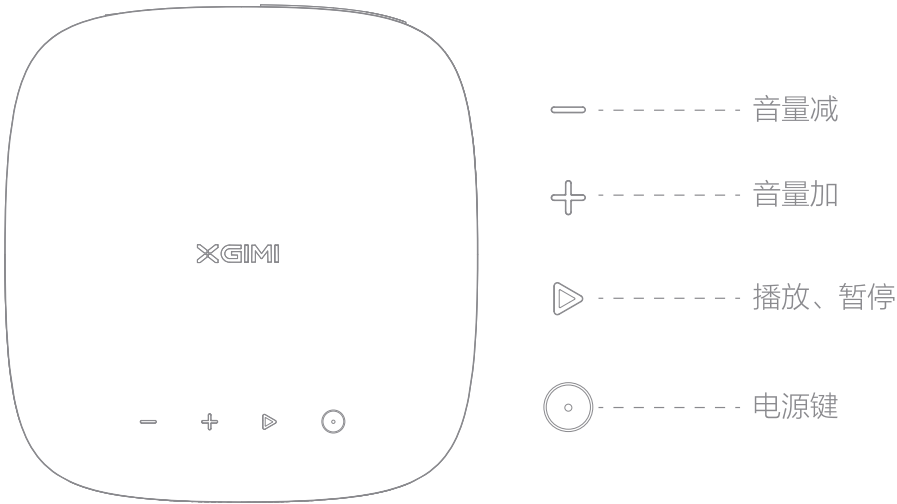
* 请勿遮挡投影镜头与传感器模组，否则可能会导致自动对焦不清晰或者自动梯形校正失效等问题。

* 使用HDMI2.0接口时请使用HDMI2.0线缆。

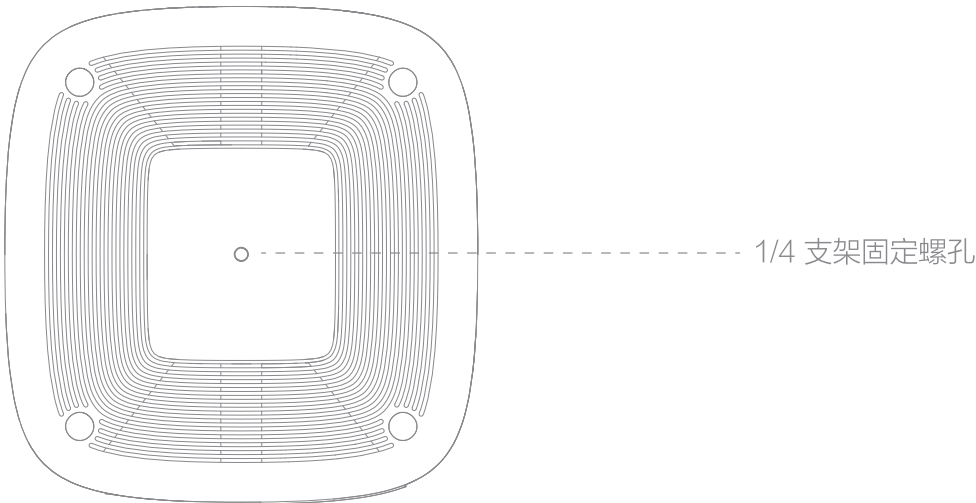
LED指示灯

LED指示灯	LED状态	状态介绍
	长亮	设备关机，处于开机状态
	闪烁	开机、关机进行中
	快速闪烁	固件升级中

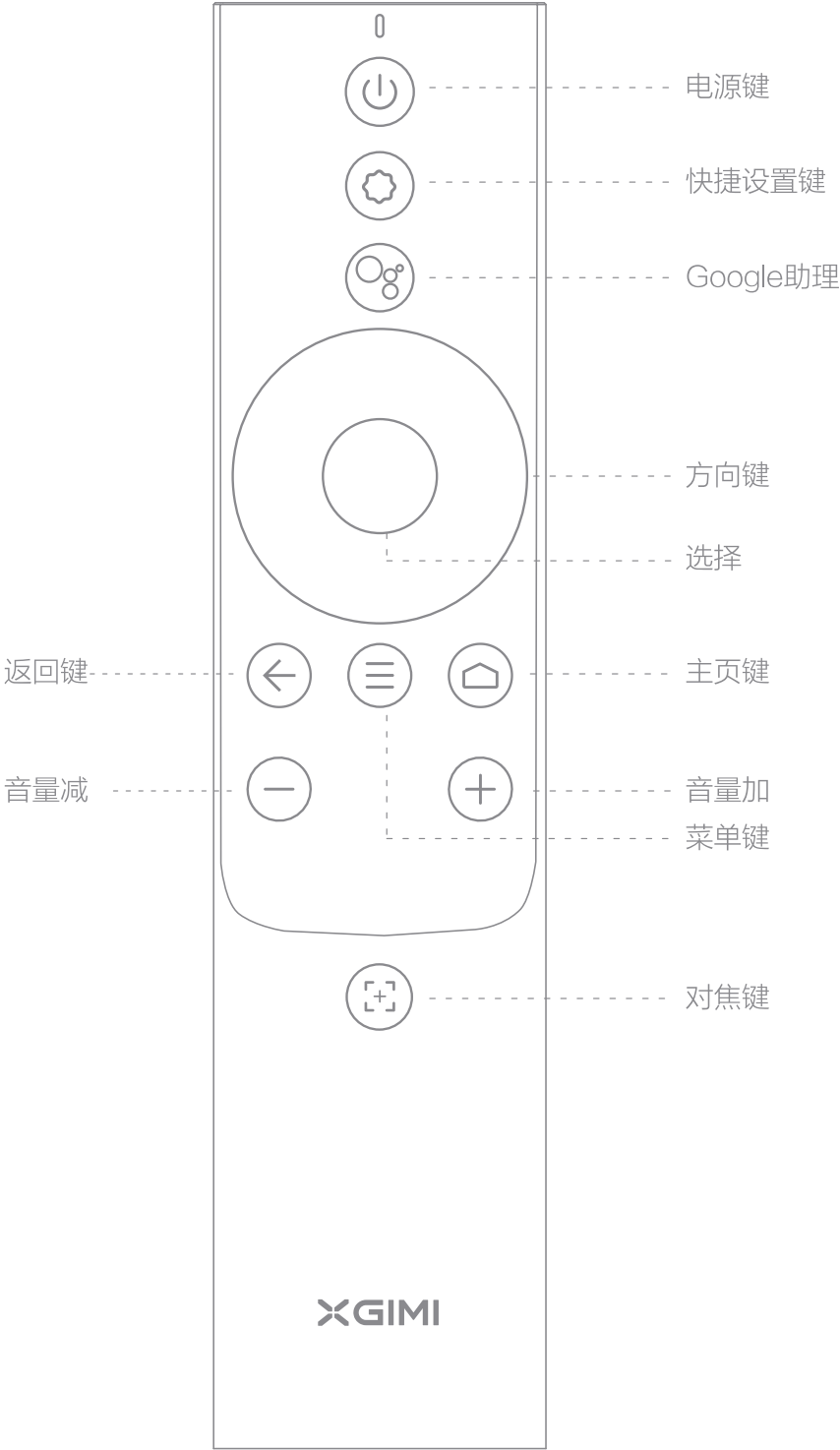
顶面



底面

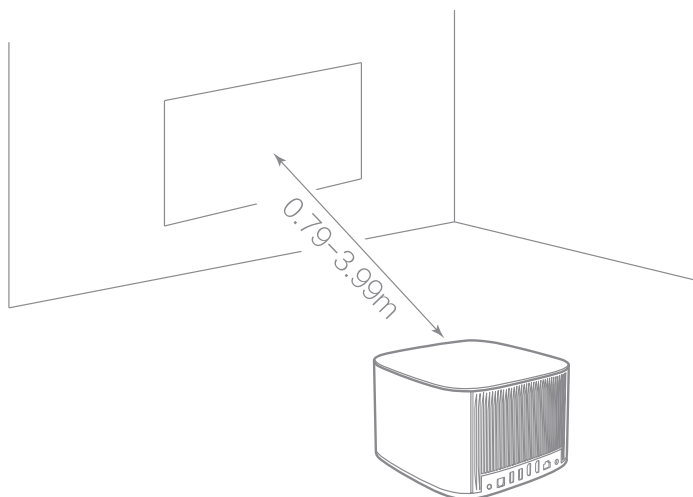


遥控器



准备使用

1. 选择观影距离



将设备放置于稳定的平面上，并将其投影镜头的方向对准投影平面。

为获得最佳投影效果，投影平面需为白色且平坦。

设备与投影平面的合适距离为 0.79 到 3.99 米，以便获得30到150英寸的投影画面。

* 无需特地将投影仪完全以直角角度对准投影平面，设备内置的自动梯形校正功能以及手动梯形校正功能可以修正投影画面。

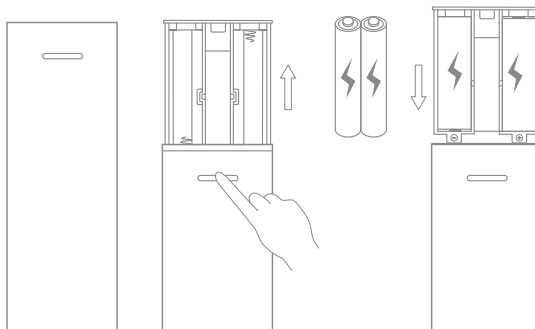
* 投影画面的尺寸由投影设备至投影平面的距离决定，因此为获得最佳观影效果，建议1.6米到2.66米之间的距离（画面为60-120英寸）。

2. 准备遥控器

① 初次使用时，按下遥控器背面的电池仓释放按钮，取出电池仓并安装两节AAA电池。

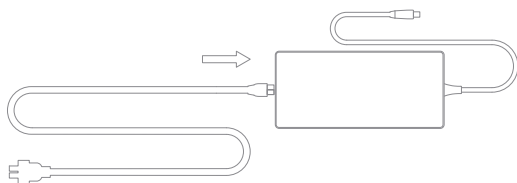
② 安装电池时注意与指示的极性（+/-）相匹配，然后将电池仓压入遥控器。

如后续需替换电池，可重复上方操作。

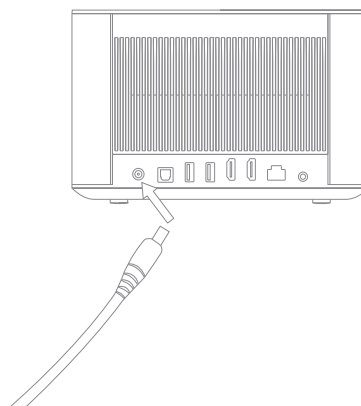


3. 从安装到投影

① 将适配器与电源线连接



② 将电源适配器接口接入设备后， 将电源线连接电源插座。



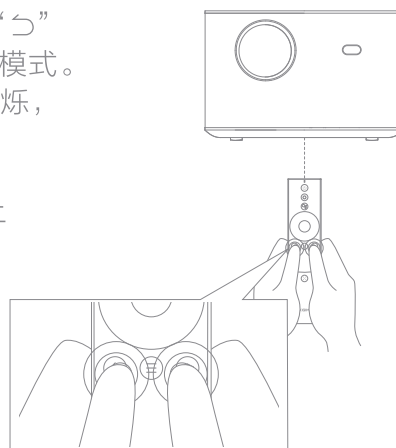
③ 接通电源后，单击设备“⊙”键，设备开机。



④ 遥控器配对

将遥控器靠近设备10厘米内，同时按下返回键“⌂”和主页键“⬅”，指示灯闪烁，遥控器进入配对模式。
(指示灯闪烁后可松开按键，此时指示灯继续闪烁，等待听到“叮”的一声，连接成功)

如果未配对成功，超时30秒退出。退出后可按上述步骤重新操作。



⑤ Android TV 设置

遥控器配对后，请按照屏幕上的说明完成Android TV设置过程。

（1）快速设置

Android手机用户可以按照说明使用您的手机快速设置Android TV。

（2）设置 XGIMI HORIZON PRO/XGIMI HORIZON

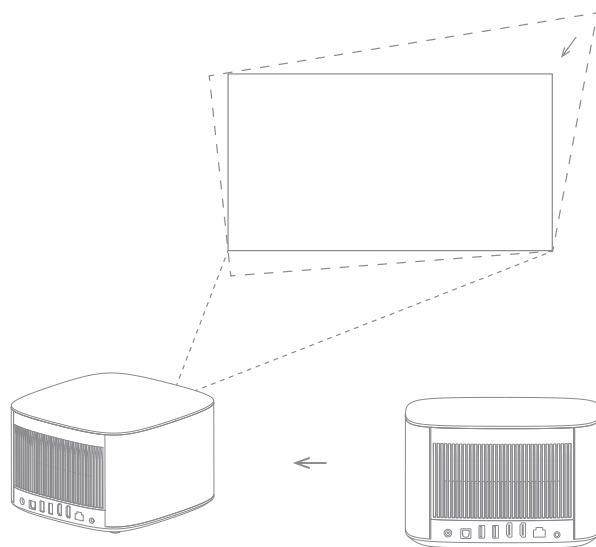
对于iOS用户，请按照说明完成该过程：

- 1) 跳过快速设置过程。
- 2) 将HORIZON PRO/HORIZON连接到网络。
- 3) 使用您的Google帐户登录。

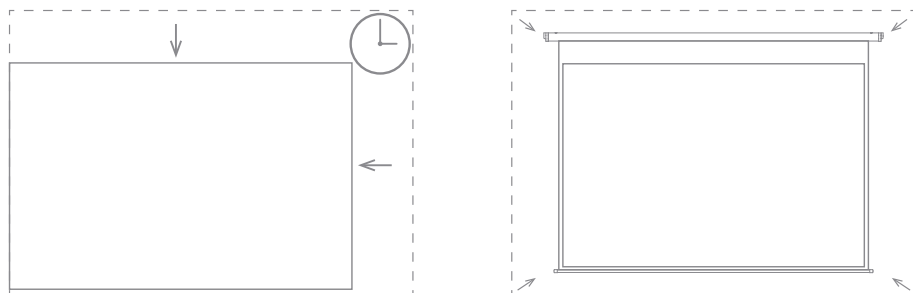
Your HORIZON PRO/HORIZON will be powered by Android TV after the setup process.

⑥ 自动梯形校正

当自动梯形校正相关功能开启时，移动设备位置，投影画面将自动调节。



当自动避障功能开启时，如投影区域内有障碍物，画面将自动避开障碍物；
当幕布自动对齐功能开启时，如投影区域内有16：9或16：10的幕布，画面将自动匹配幕布。



按下遥控器“”键，进入[梯形校正]后，选择[自动梯形校正]，可触发自动梯形校正；选择[手动梯形校正]，可对画面进行四点调节以及画面尺寸的缩放调节。

⑦ 自动对焦/遥控器手动调焦

当自动对焦功能开启时，设备开机或移动设备位置，画面将自动调节清晰。

如果感觉画面不够清晰，可以短按“”键触发自动对焦；也可以长按“”键触发手动调焦后，通过遥控器左右键或音量“+/-”键进行手动调节，调节结束后可按其他键退出调焦。

* 用户可在[投影设置]-[对焦设置]对对焦功能进行设置。



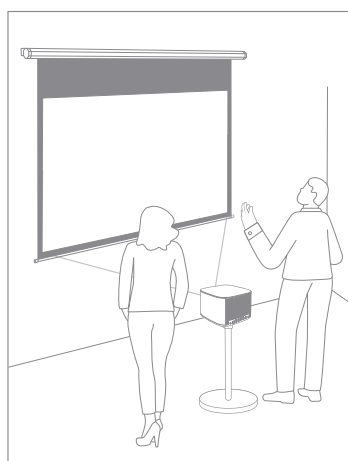
⑧ 投影方式

您可以根据不同使用环境，通过投影支架进行投影仪的安装，如桌面支架、天花板吊顶支架、落地支架等，也可通过界面调整不同的投影方式：

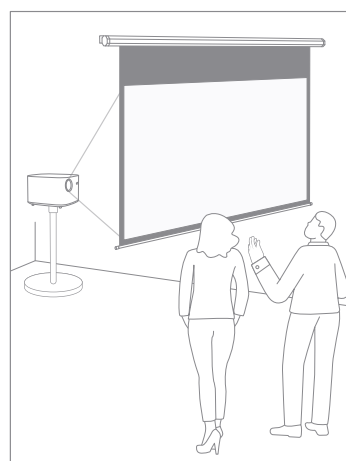
在主页上，选择  进入 [投影设置]，打开[投影方式]，选择合适的投影方式。

按下设置快捷键，选择[全部设置]后，进入[投影方式]，打开[投影方式]，选择合适的投影方式。

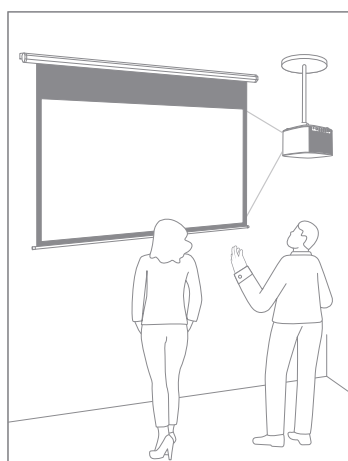
[自动垂直翻转]功能默认打开，会根据投影实际摆放情况进行画面翻转，如不需要可选择关闭。



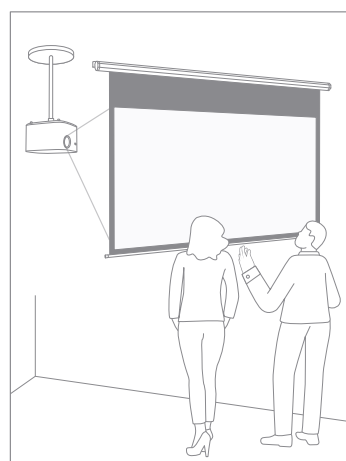
正装正投



正装背投



吊装正投



吊装背投

使用投影仪

首次打开HORIZON PRO/HORIZON后，您需要执行以下过程。

1. 网络和互联网

本设备可以通过无线网络（Wi-Fi）连接到互联网。

在主页上，选择  进入 [网络和互联网]，确认Wi-Fi选项打开，选择需要连接的无线网络。

按下设置快捷键，选择[全部设置]后，进入[网络和互联网]，确认Wi-Fi选项打开，选择需要连接的无线网络。

当您使用移动流量时，可以打开[Data saver]自动调整视频分辨率以节约流量；同时[Data usage and alerts]支持对使用的流量数据进行实时监控，以及可对用户进行流量超额的提醒。

2. Android TV feature

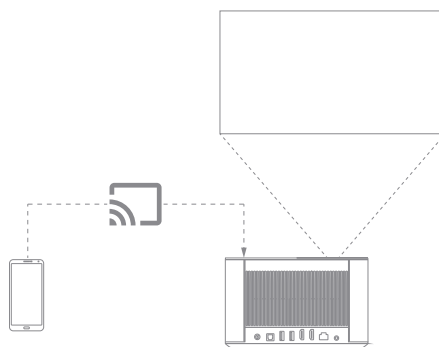
连接到无线网络后，您就可以访问Android TV的在线服务，欣赏电影，音乐和图片等。除了预安装的应用程序外，您还可以安装Google Play中的其他任何应用程序，并与Google 助理联系以执行某些任务。

按下遥控器上的专用按键 “” 即可启动Google助理您可以利用语音快速搜索并播放投影上的娱乐内容、操控智能设置、搜索信息等。

您可以将手机，计算机中的照片，视频和音乐无线投射到投影仪上。

- ① 在支持Chromecast Built-in™的手机或电脑应用播放视频片段，然后点击屏幕上的  图标。
- ② 选择要投射到的设备 “XGIMI HORIZON PRO” 或 “XGIMI HORIZON” 即可将手机或电脑上的画面同步至投影。

注：确保投影仪和您的手机或电脑连接在相同的Wi-Fi下



3. 极米应用

File Manager

使用File Manager应用可查看本地存储、外接存储设备上的文件。

① 在主页上，选择  应用 进入应用程序列表后，选择 File Manager 应用，打开后，可选择进入内置存储或外接存储设备。

② 长按设置快捷键，可对文件进行操作；按下菜单键，可选择更多操作选项。

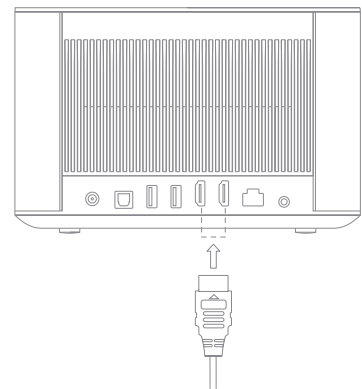
注：基于Android TV的安规要求，用户只能对外接存储设备的文件进行读取，无法对文件进行复制、粘贴等操作。

4. HDMI

插入HDMI线缆连接设备后，投影仪将自动切换信号源；也可在主页上选择  后进行信号源的选择并进入。

在切换至HDMI信号源后，用户可以按下“”键，进入[HDMI版本]对HDMI的版本进行选择；也可以进入[图像比例]对信号源的画面比例进行切换。

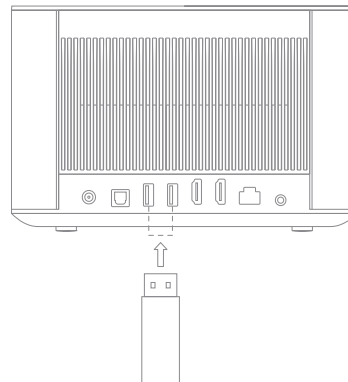
“HDMI控制”功能默认打开，即用户可以使用极米遥控器控制HDMI外接的设备；如需关闭，用户可在[投影设置]下的[更多]里进入[HDMI 控制]进行选择，关闭后音频ARC输出将不可用。



5. USB

将移动存储设备接入USB口后，机器检测到USB接口的变化会自动弹出弹窗，用户可直接点击进入访问文件。

也可从主页选择  应用 进入应用程序列表，进入 File Manager 应用访问文件。



6. 蓝牙

外接蓝牙音箱

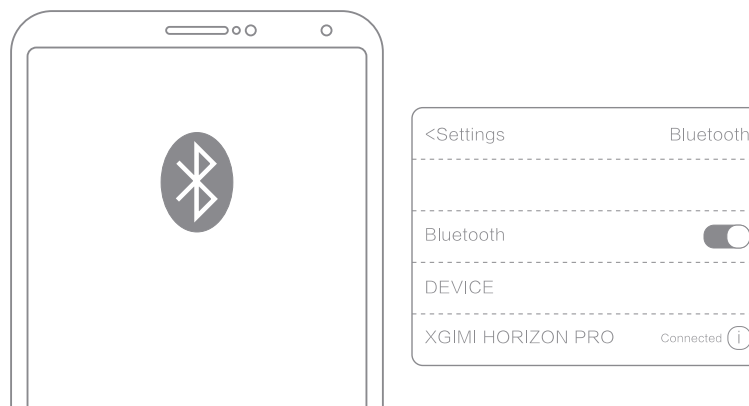
- ① 在系统设置里进入[遥控器和配件]后，选择[添加配件]。
- ② 搜索并连接外置蓝牙音箱设备即可。

如果在连接外置蓝牙音箱的状态下切回投影仪扬声器，可按下“”，选择声音设置，在[声音输出]下选择[内部扬声器]。

播放蓝牙音乐

通过手机蓝牙搜索“XGIMI HORIZON PRO”或“XGIMI HORIZON”并连接，连接成功后，即可通过投影设备播放手机上的音乐。

如音乐播放过程中需关闭投影画面，可长按电源键，选择[关光机]。



设置

1. 快捷设置

快捷设置“”键，还有以下功能可选择：

关闭后台应用

清除后台应用缓存，可使设备更流畅地运行。

图像模式

在观看HDMI信号源内容，或观看视频的过程中，用户可以根据使用场景选择合适的模式，如观影、足球、办公、游戏，以便达成最佳的画面观看效果。用户如需自己配置图像参数，可选择自定义模式。

注：其中游戏模式仅在HDMI信号源下生效，为低延迟状态，此时运动补偿（MEMC）效果消失；用户如需进一步降低画面低延迟，可选择流畅模式，此时画面梯形校正效果消失。

音效模式

HORIZON PRO/HORIZON 产品提供DTS Studio Sound音效与哈曼卡顿专业音效供用户选择。在不同的使用场景下，选择不同的音效模式：如观影、音乐、体育，享受最佳的声音体验。

3D 设置

在观看HDMI信号源3D内容或观看在线3D视频的过程中，用户可以选择3D模式进行切换。

2. 投影设置

在主页上，选择进入 [投影设置]，也可按下设置快捷“”键，选择[全部设置]后进入。

亮度与色彩

选择不同的投影画面亮度模式：如标准、明亮、护眼等，并调整亮度等级。

用户如需自己配置画面色彩，可选择自定义模式。

打开[环境自适应]功能后，投影仪可根据环境亮度自动调节投影亮度。

校准功能

用户可进入[更多]对部分功能进行校准，可按照画面提示进行操作完成校准流程。

对焦校准

如投影仪在长期使用后发生自动对焦功能效果变差，可通过[对焦校准]重新校准自动对焦功能。

注：校准时须保证设备处于正投状态，并保证距墙面/幕布1-2米。

梯形校正校准

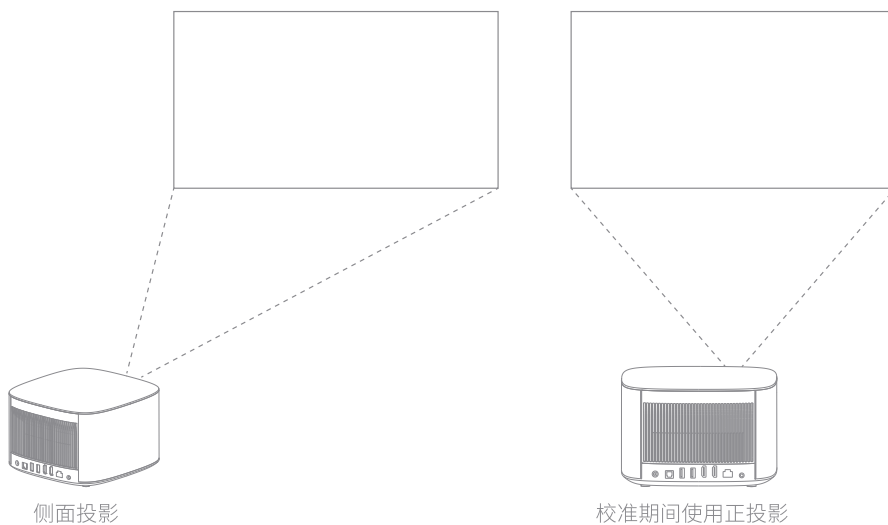
如对自动梯形校正功能的效果不满意，可通过[梯形校正校准]重新校准自动梯形校正功能。

注：校准时须保证设备处于正投状态且投影画面方正，并保证距墙面/幕布1.5-2米。

陀螺仪校准

如投影仪在长期使用后发生自动梯形校正功能效果变差，可通过[陀螺仪校准]重新校准陀螺仪，优化自动梯形校正效果。

注：校准时须保证设备水平放置。



3. 设备偏好设置

设备偏好设置里可进行更多设置，以下为较为常用的设置：

关于

确认设备信息与固件版本，检查固件更新情况，也可进行出厂恢复。

日期和时间

手动设置日期与时间。

语言

选择显示语言。

存储空间

检查投影仪的存储空间和可移动设备的存储空间。

主屏幕

个性化设置首页内容。

Google 助理

对Google 助理 进行设置。

屏保

设置屏保内容与屏保启动时间。

无障碍

考虑到部分用户由于各种限制不能很好地使用设备，此处提供了无障碍特性和服务帮助用户更好地使用设备。

规格参数

显示技术	DLP
亮度	2200 ANSI Lumens
标准分辨率	HORIZON PRO: 3840 x 2160 (4K)
	HORIZON: 1920 x 1080 (1080p)
最大支持分辨率	4096 x 2160 @ 60Hz
HDR	HDR10, HLG
镜头	高透光镀膜镜头
投射比	1.2
梯形校正	水平： ± 45度， 垂直： ± 45度
投影方式	正装正投， 吊装正投， 正装背投， 吊装背投
CPU	MT9629
GPU	Mali-G52
RAM	2GB
Storage	32GB
系统	Android 10.0
投屏	Chromecast built-in
特色功能	3D， 自动梯形校正， 极速开机， 亮度环境自适应
扬声器	Harman Kardon 8W x 2
DTS-HD & DTS Studio Sound	√
杜比	√
接口	DC x 1, HDMI-ARC x 1, HDMI x 1, USB 2.0 x 2, LAN x 1, OPTICAL x 1, 3.5mm AUDIO x 1
Wi-Fi	双频 2.4/5GHz, 802.11a/b/g/n
蓝牙	蓝牙 5.0
噪音	< 30dB
功耗	< 200W
电源输入	AC100-240V, 50/60Hz

问题解答

1. 如何安装应用？

- ① 极米投影仪为Android TV原生系统，您可以通过Google Play应用市场直接安装应用。
- ② 通过您的U盘或其他外部存储设备安装应用。对于首次安装，您需要同意File Manager和UIConfiguration安装未知的应用程序。

2. 在梯形校正后外框会留下不规则的阴影是什么原因？

所有的TI DLP投影四周都会有不满屏的情况，实际画面显示区域是真实分辨率，旁边四周的是无效区域；由于极米投影仪的梯形校正为数码矫正，在使用梯形校正之后，原本显示画面的地方成为了阴影区域（也就是无效区域），故画面背景会有些许阴影，此为正常现象，请您放心使用。

3. 适配器插入机器使用后，会变得很热，是正常现象吗？

我司的适配器是经过安规测试及认证的。使用时由于内部电流传输，会有发热或者发出轻微电流摩擦声音的情况，此为正常现象，不会影响使用。

4. 遇到没有画面，或者声音和画面不能同步的时候怎么办？

如为无线投屏场景，一般主要与APP自身或者网络速度有关。
如为接入HDMI或者连接外部蓝牙音箱等场景，则取决于所连接的设备品牌，设备兼容程度等。

5. 对焦功能有问题怎么办？

请检查：

- ① 对焦设置的自动对焦功能是否处于开启状态。
 - ② 投影镜头与传感器模组前是否有物体遮挡。
- 如仍有对焦问题，可进入系统设置进行对焦校准。

如您仍有问题，请联系 service@xgimi.com

Chengdu XGIMI Technology Co., Ltd.

Building A4, Tianfu Software Park, High-tech Zone, Chengdu, China
www.xgimi.com service@xgimi.com

